

# 令和4年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果

## 鹿児島市

### ・第5回

1. 新型コロナウイルスの影響によるライフスタイル（食生活）の変化について（資源政策課）
2. 性の多様性について（人権推進課）
3. コロナによるコミュニティの活動及び意識の変化について（地域づくり推進課）



## 目 次

I	調査の概要 .....	1
II	新型コロナウイルスの影響によるライフスタイル（食生活）の変化について .....	4
III	性の多様性について .....	11
IV	コロナによるコミュニティの活動及び意識の変化について ...	23



# I 調査の概要

## 1. まちかどコメンテーターの概要

### (1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様に「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

### (2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,200 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

### (3) 任期

令和 4 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日

### (4) 人数

340 人（第 5 回調査実施時点）

### (5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

## 2. 第5回調査の概要

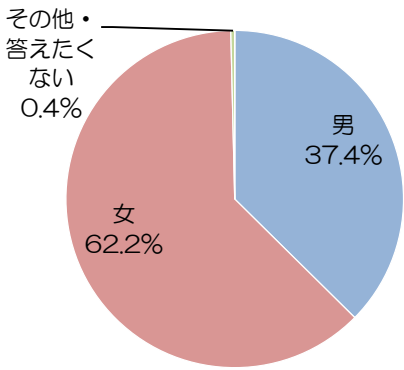
### (1) 調査概要

テーマ/担当課	新型コロナウイルスの影響によるライフスタイル（食生活）の変化について	資源政策課
	性の多様性について	人権推進課
	コロナによるコミュニティの活動及び意識の変化について	地域づくり推進課
調査期間	令和4年12月2日～12月23日	
回答率	79.4% (270人)	

### (2) 回答者属性

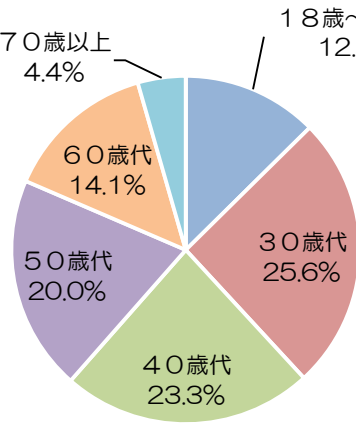
#### ① 性別

選択肢	回答数	割合
男	101	37.4%
女	168	62.2%
その他・答えたくない	1	0.4%
無回答	0	0.0%
サンプル数	270	100.0%

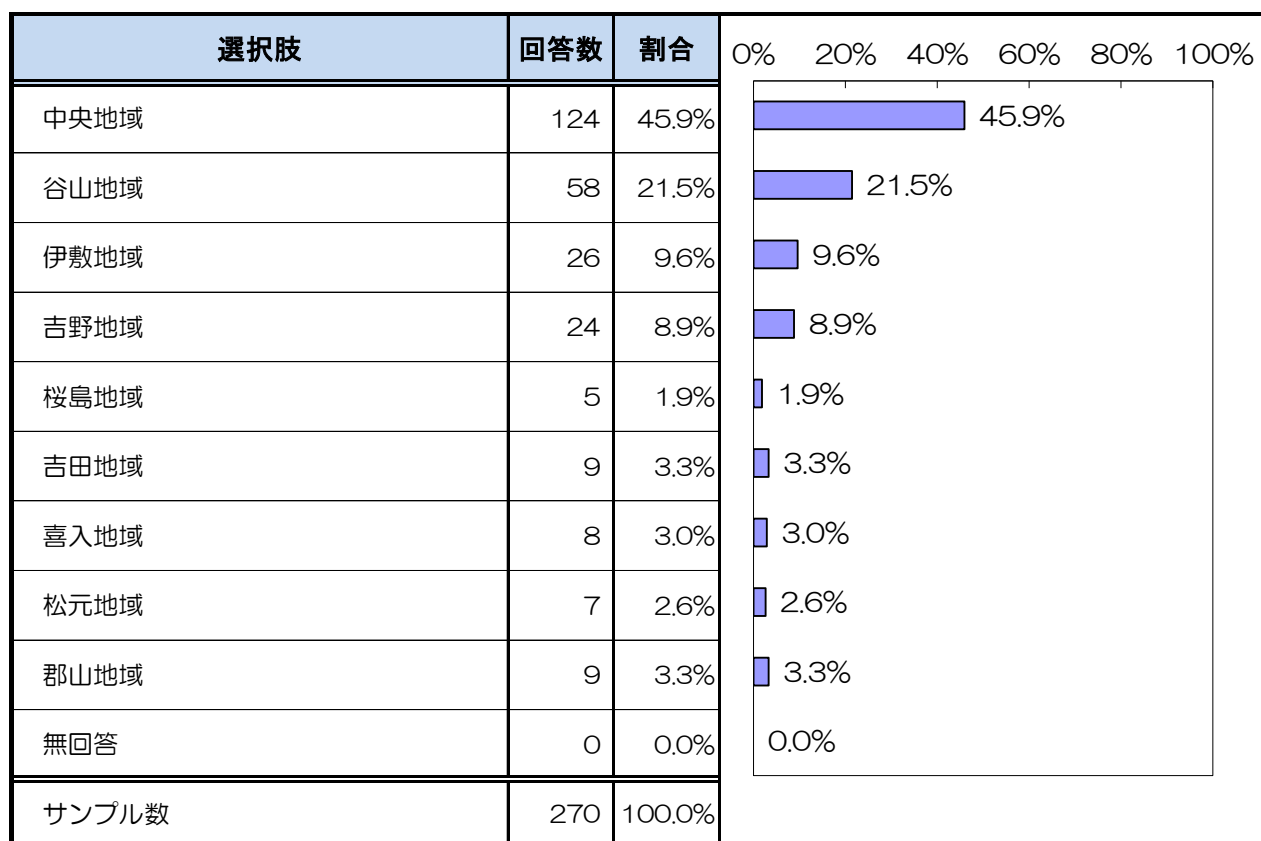


#### ② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	34	12.6%
30歳代	69	25.6%
40歳代	63	23.3%
50歳代	54	20.0%
60歳代	38	14.1%
70歳以上	12	4.4%
無回答	0	0.0%
サンプル数	270	100.0%



### ③ 居住地



## 3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

## Ⅱ 新型コロナウイルスの影響によるライフスタイル (食生活)の変化について

### 1. 調査の目的

私たちの日常生活に伴い生じるごみの処理に当たり、本市では 3R(※)の推進による減量化・資源化をはじめ、廃棄物のエネルギー源としての利用をさらに推進することにより、資源が循環し、環境負荷が低減される循環型社会の構築を目指しています。

このアンケートは、新型コロナウイルスの影響によるライフスタイル(食生活)の変化について調査するものです。

### 2. 調査結果を受けて担当課(資源政策課)からのコメント

市民の皆さんの新型コロナウイルスの影響によるライフスタイル(食生活)の変化について、伺うためにアンケートを実施したところ、多くのご回答をいただきまして、誠にありがとうございます。

「家庭ごみマイナス 100g」を目標に掲げている本市では、家庭ごみ量が新型コロナウイルスの影響により想定外となったことや、依然としてコロナ禍の終息が予測できないことから、目標期限を 7 年 3 月まで延長し、減量化・資源化に取り組んでいるところです。

この度の調査結果では、「飲食店で昼食を食べることは(ほとんど)なかった」がコロナ禍前の 35.6%から 54.1%へ、「飲食店で夜間の会食を行うことは(ほとんど)なかった」がコロナ禍前の 36.3%から 73.7%へ増えるなど、新型コロナウイルスの影響により、昼夜ともに、飲食店で食事をする機会が減り、持ち帰り(テイクアウト)や出前(デリバリー)、自炊といった食事形態へ移行している実態が明らかとなりました。

また、この食事形態の移り変わりと合わせ、概ね半数の方が、家庭から出る生ごみなどの「もやせるごみ」や「缶・びん、ペットボトル」、「プラスチック容器類」の量が増えたと回答しています。(順に 42.2%、45.9%、54.4%)

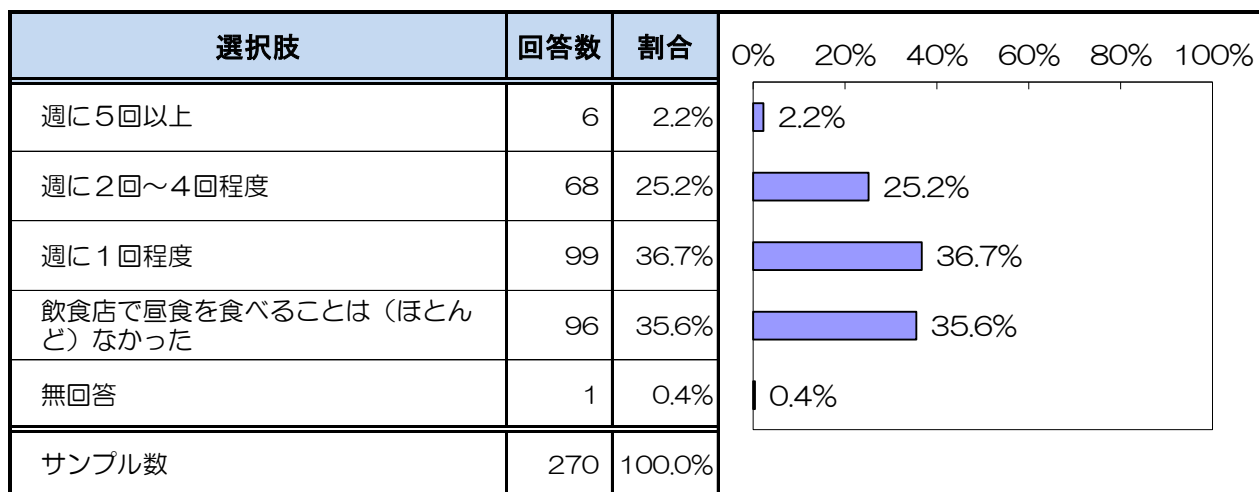
今回の調査結果を参考とし、3Rの推進による資源の有効活用や食品ロスの削減などについて意識啓発を図るとともに、市民・事業者・市民活動団体・行政が協働・連携した資源循環への取組を進めてまいります。



### 3. 調査結果

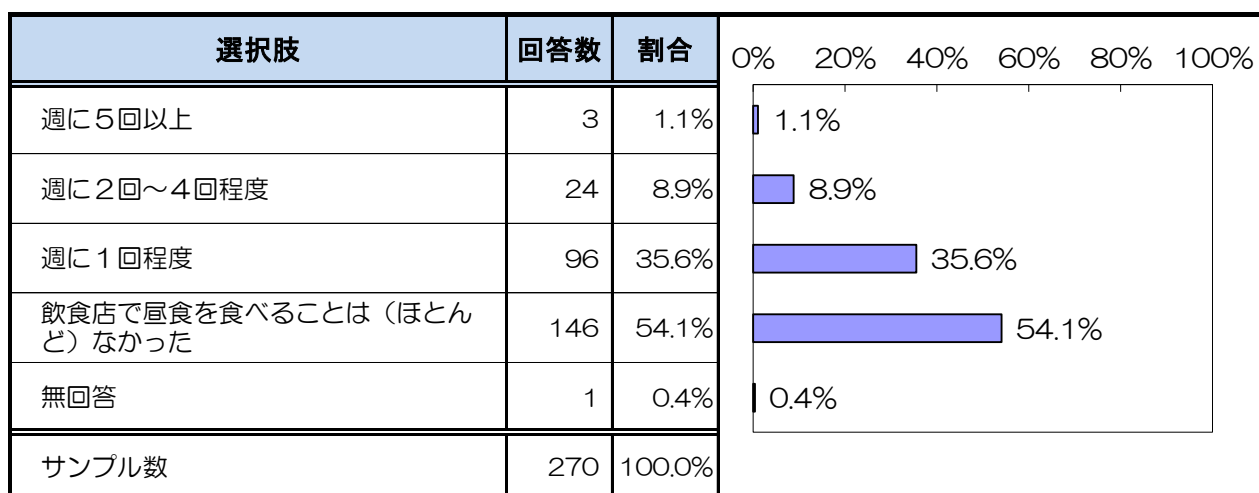
問1 コロナ禍前（令和2年2月以前）、週に何回程度、飲食店で昼食を食べていましたか。（単数回答）

「週に1回程度」が36.7%と最も高く、次いで、「飲食店で昼食を食べることは（ほとんど）なかった」の35.6%、「週に2回～4回程度」の25.2%の順となっています。



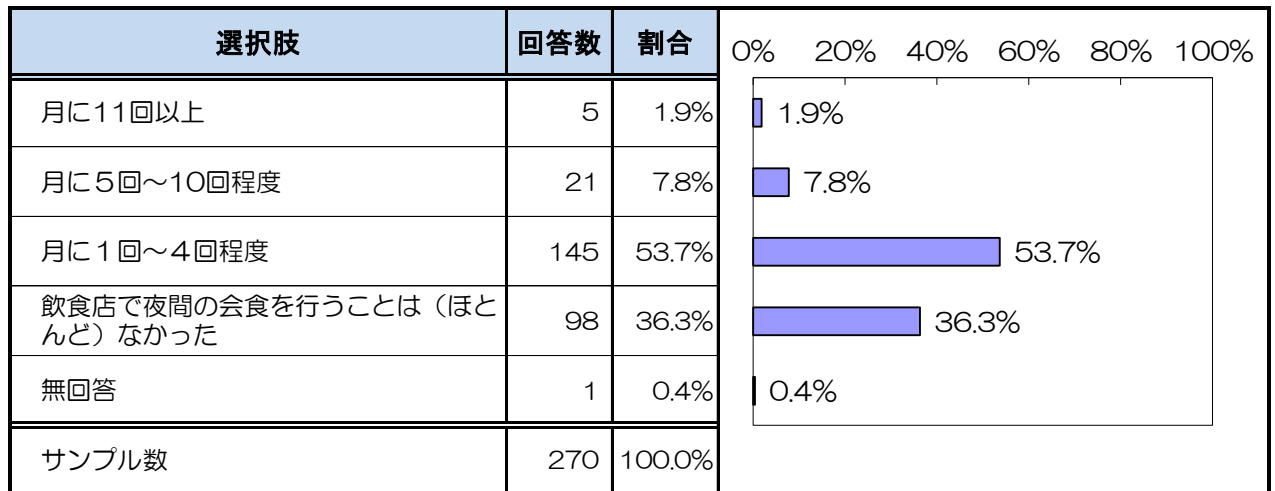
問2 令和4年上半期（1月から6月まで）、週に何回程度、飲食店で昼食を食べていましたか。（単数回答）

「飲食店で昼食を食べることは（ほとんど）なかった」が54.1%と最も高く、次いで、「週に1回程度」の35.6%、「週に2回～4回程度」の8.9%の順となっています。



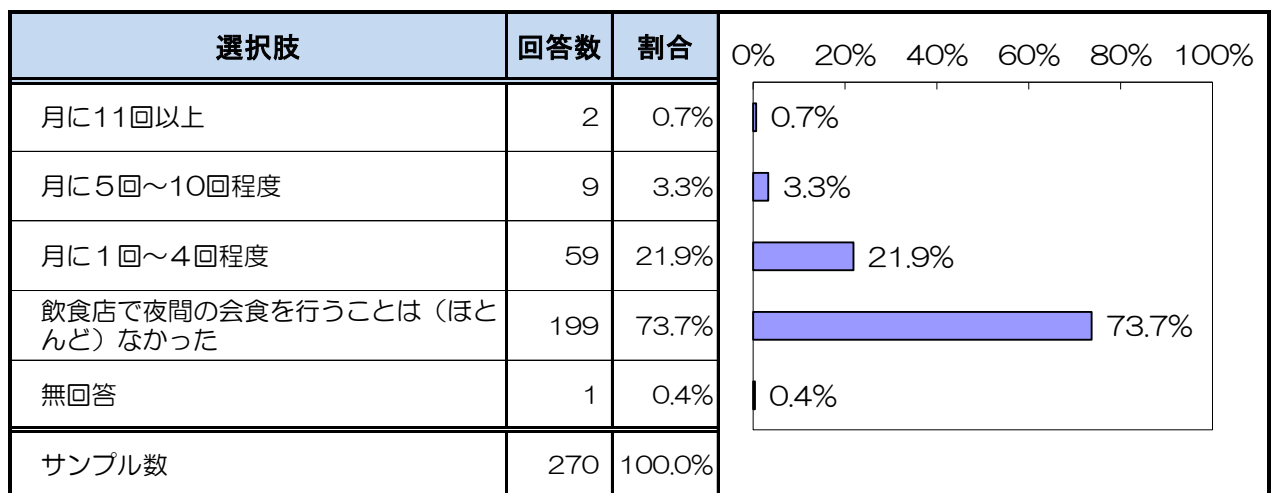
問3 コロナ禍前（令和2年2月以前）、月に何回程度、飲食店で夜間の会食（2人以上での飲食）を行っていましたか。（単数回答）

「月に1回～4回程度」が53.7%と最も高く、次いで、「飲食店で夜間の会食を行うことは（ほとんど）なかった」の36.3%、「月に5回～10回程度」の7.8%の順となっています。



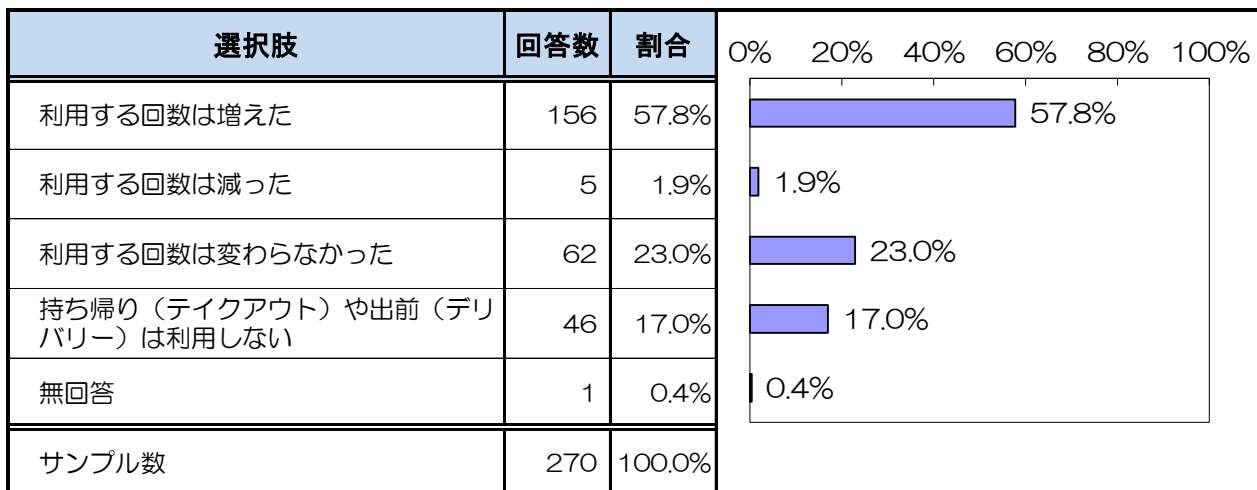
問4 令和4年上半期（1月から6月まで）、月に何回程度、飲食店で夜間の会食（2人以上での飲食）を行っていましたか。（単数回答）

「飲食店で夜間の会食を行うことは（ほとんど）なかった」が73.7%と最も高く、次いで、「月に1回～4回程度」の21.9%、「月に5回～10回程度」の3.3%の順となっています。



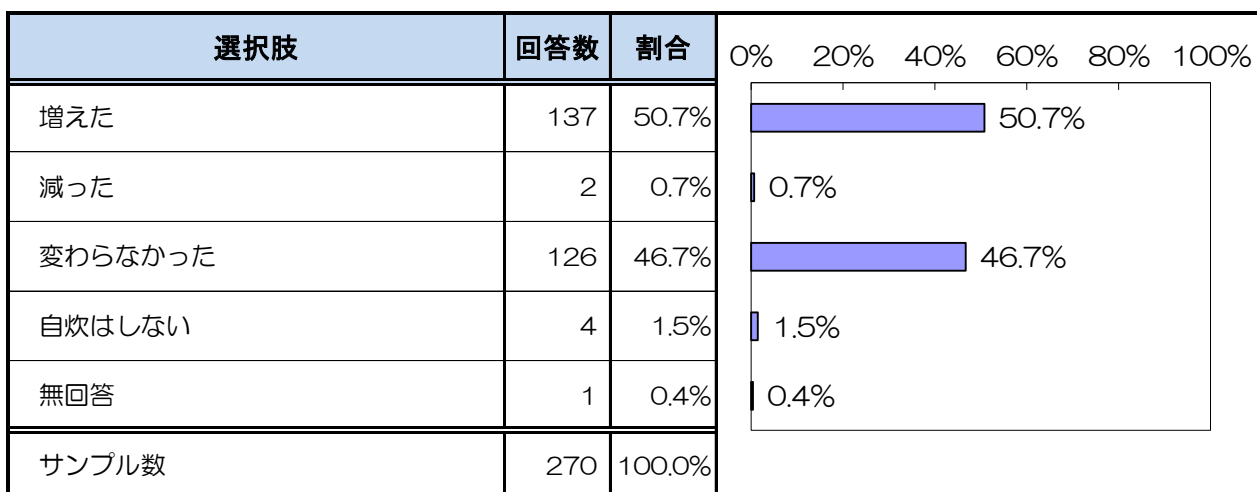
問5 コロナ禍の外出自粛により、持ち帰り（テイクアウト）や出前（デリバリー）の食事は増えましたか。（単数回答）

「利用する回数は増えた」が 57.8%と最も高く、次いで、「利用する回数が変わらなかった」の 23.0%、「持ち帰り（テイクアウト）や出前（デリバリー）は利用しない」の 17.0%の順となっています。



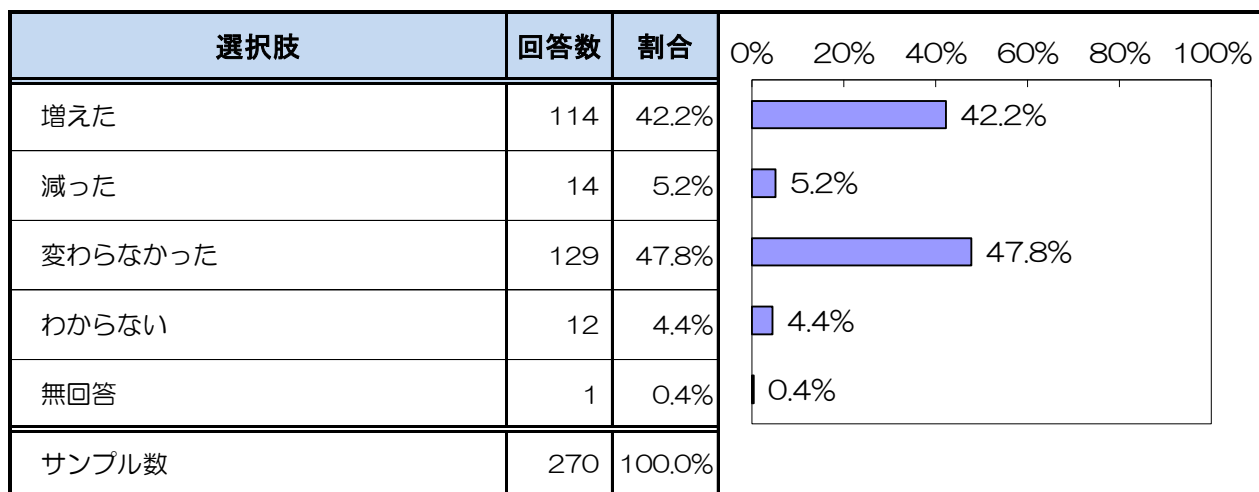
問6 コロナ禍の外出自粛により、自炊（家族が作る場合も含む）は増えましたか。（単数回答）

「増えた」が 50.7%と最も高く、次いで、「変わらなかった」の 46.7%、「自炊はしない」の 1.5%の順となっています。



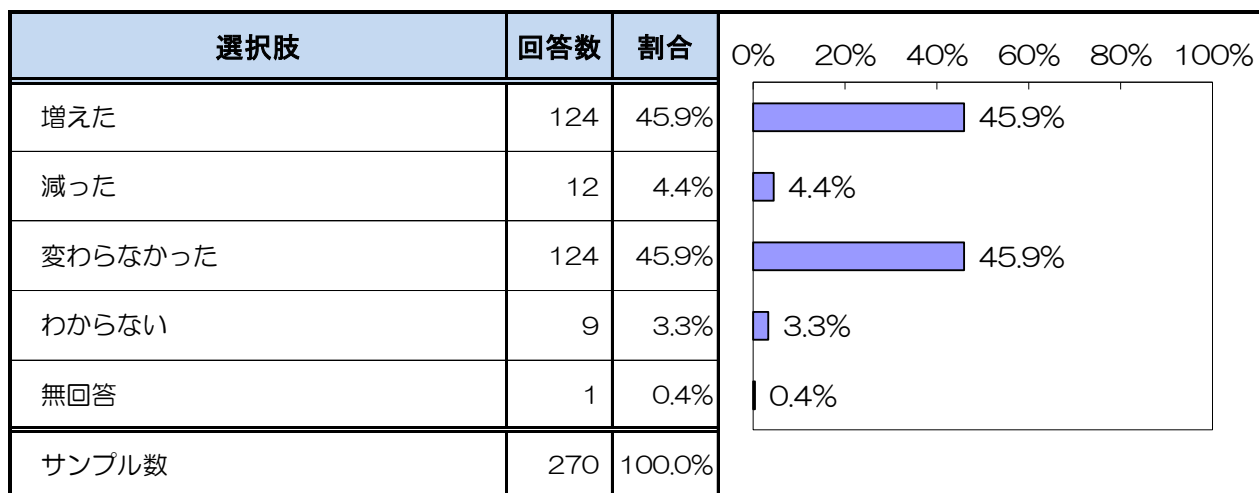
問7 家庭から出る生ごみなどの「もやせるごみ」の量は、コロナ禍前（令和2年2月以前）と比べてどうなりましたか。（単数回答）

「変わらなかった」が47.8%と最も高く、次いで、「増えた」の42.2%、「減った」の5.2%の順となっています。



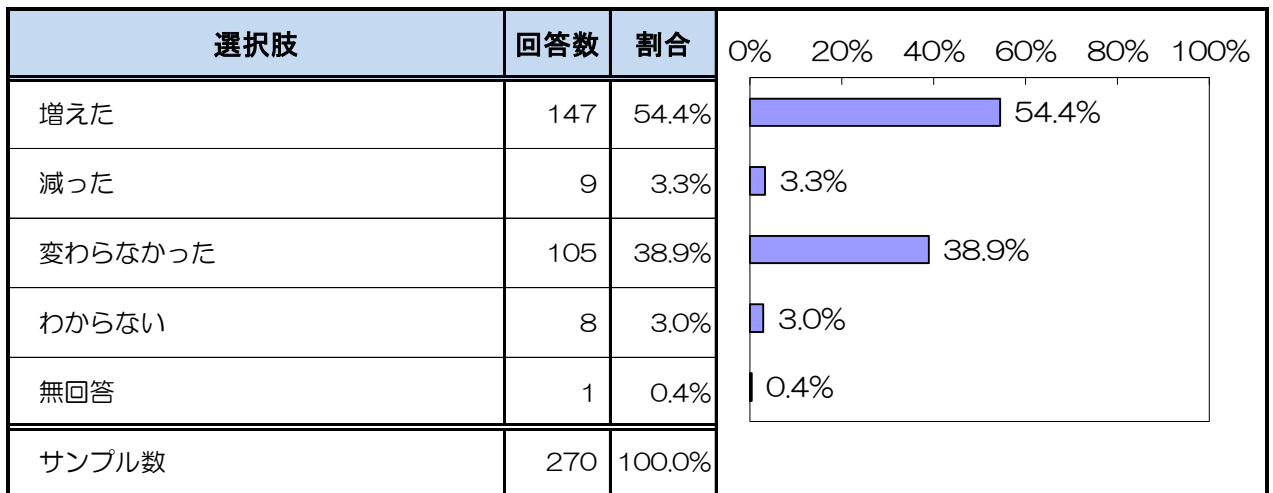
問8 家庭から出る「缶・びん、ペットボトル」の量は、コロナ禍前（令和2年2月以前）と比べてどうなりましたか。（単数回答）

「増えた」「変わらなかった」がともに45.9%と最も高く、次いで、「減った」の4.4%、「わからない」の3.3%の順となっています。



問9 家庭から出る食品トレイやお惣菜の持ち帰り容器などの「プラスチック容器類」の量は、コロナ禍前（令和2年2月以前）と比べてどうなりましたか。（単数回答）

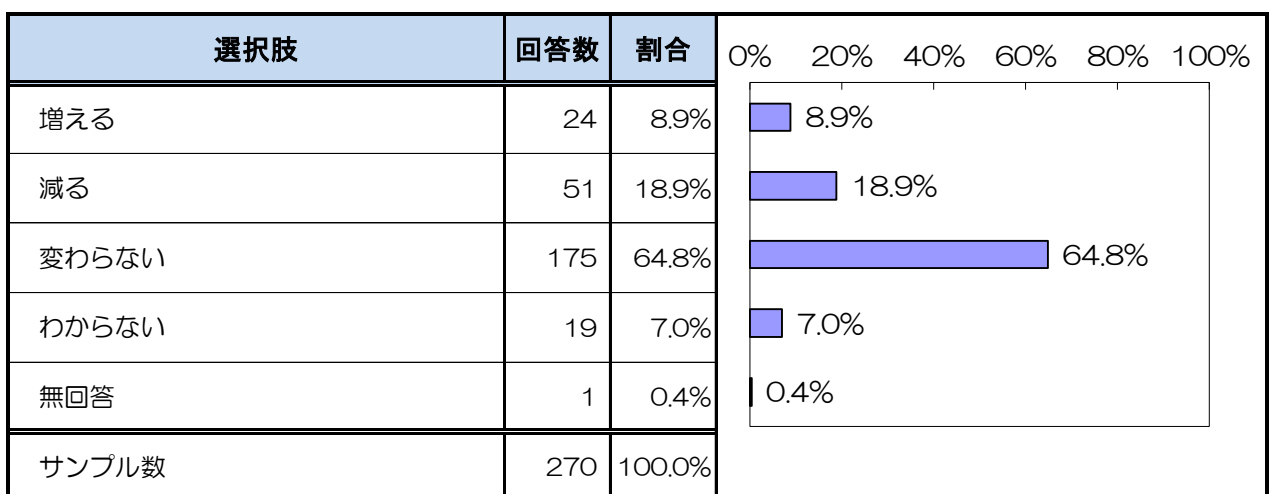
「増えた」が54.4%と最も高く、次いで、「変わらなかった」の38.9%、「減った」の3.3%の順となっています。



問10 コロナ禍が終息したら、自炊や外食、テイクアウトの利用など、現在の食事の形態はどうなると思いますか。（それぞれ単数回答）

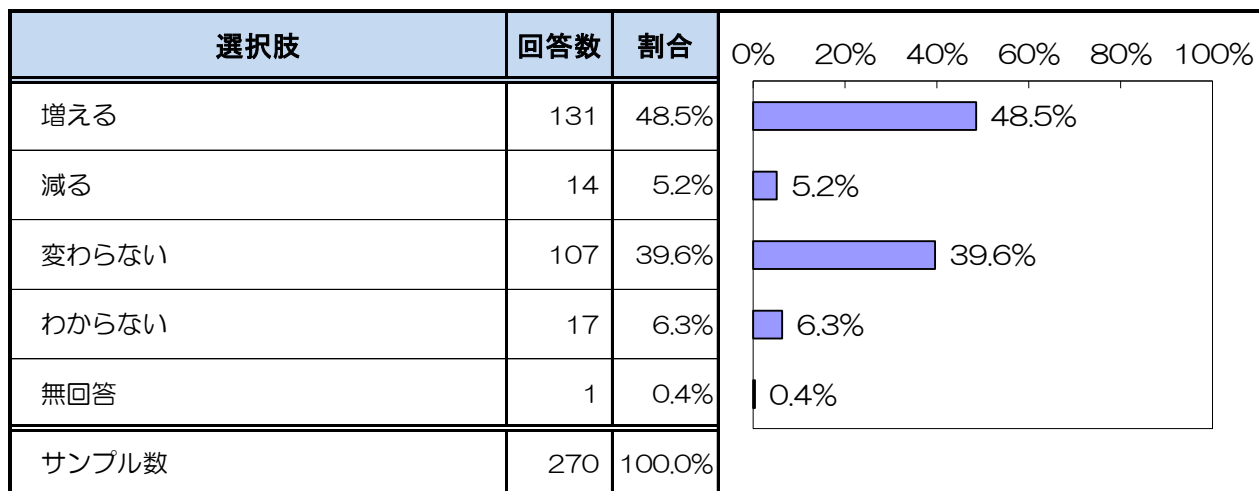
㊦ 自炊

「変わらない」が64.8%と最も高く、次いで、「減る」の18.9%、「増える」の8.9%の順となっています。



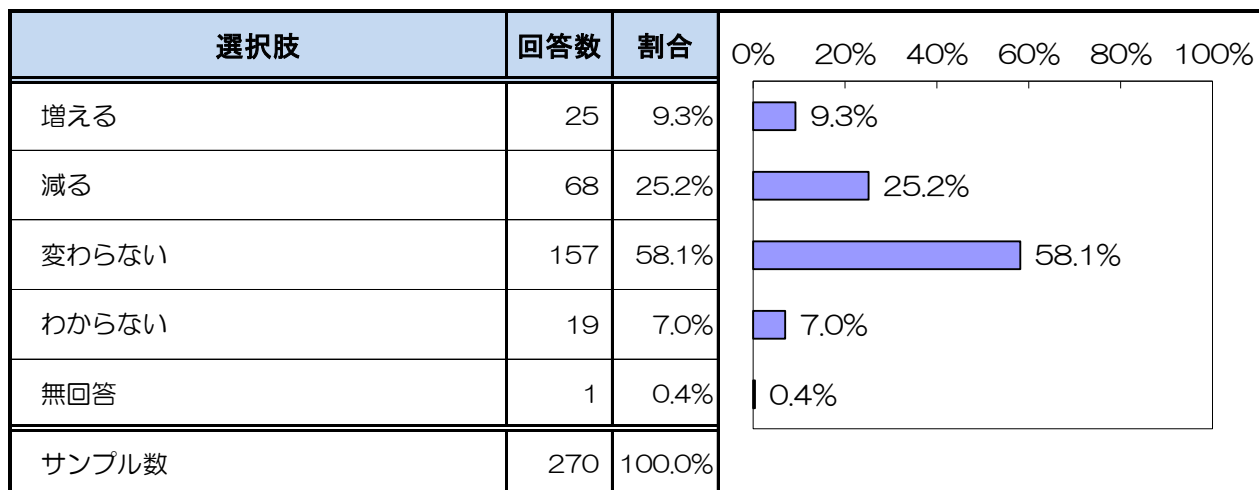
### ① 外食

「増える」が 48.5%と最も高く、次いで、「変わらない」の 39.6%、「わからない」の 6.3%の順となっています。



### ② テイクアウトの利用

「変わらない」が 58.1%と最も高く、次いで、「減る」の 25.2%、「増える」の 9.3%の順となっています。



## Ⅲ 性の多様性について

### 1. 調査の目的

本市では、市民一人ひとりの人権や多様性が尊重され、誰もが安心して暮らしていける社会の実現に向けて人権教育・啓発基本計画を策定し、啓発活動に取り組んでおります。その取り組みの一環として、令和4年1月から「鹿児島市パートナーシップ宣誓制度」を導入いたしました。今回は、市民の皆様性に性の多様性（性的少数者（LGBTなど）やパートナーシップ宣誓制度など）についての考えをお聞かせいただき、今後の施策の参考とするために、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

### 2. 調査結果を受けて担当課（人権推進課）からのコメント

「LGBT」という言葉については、81.9%の方が「知っていた」と回答しており、浸透してきていることがわかりますが、「SOGI（ソジ・ソギ）」という言葉については、78.9%の方が「知らなかった」と回答していることから、今後、より一層、性の多様性に関する基礎知識の周知・啓発に努める必要があると考えます。

また、「鹿児島市パートナーシップ宣誓制度」については、44.4%の方が「知らなかった」と回答しており、本制度のさらなる周知が必要であると考えます。

現在の社会は、性的少数者の方々にとって、生きやすい社会だと「思わない・どちらかと言えば思わない」と回答した方が75.2%であり、そう思う理由として、66.0%の方が「周囲の人の理解が得られないと思うから」と回答していることから、性的少数者の方々生きやすい社会となるためには、性の多様性に関する社会的理解を広げていくことが必要であると考えます。

性的少数者の方々生活しやすい社会となるために必要な取り組みとして、「行政による制度や環境の整備」（60.7%）や「教育現場での啓発活動」（60.0%）が多く選択されていることから、性的少数者に対する支援制度等の整備や子どもに対する教育・啓発などが重要視されていることがわかりました。

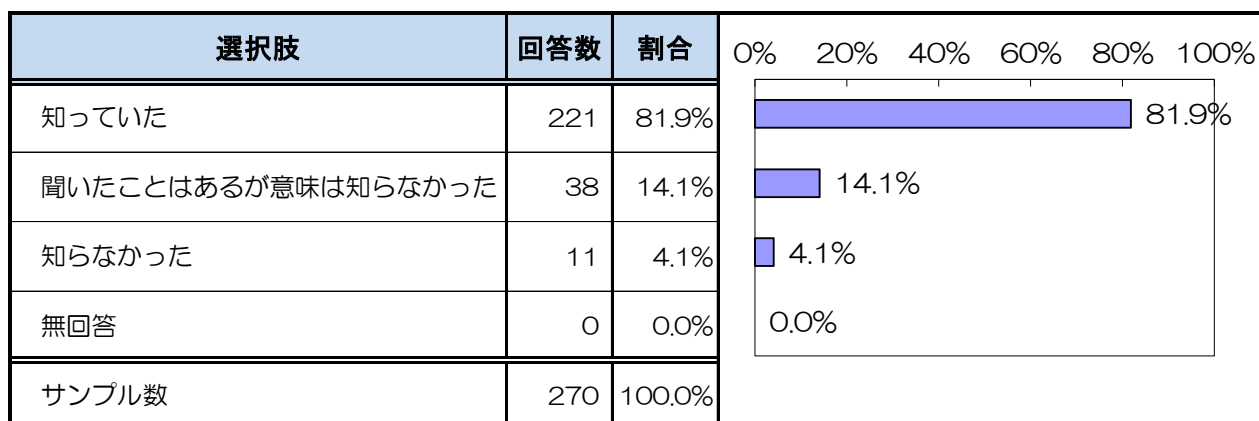
なお、77.0%の方が、過去1年間に地域・職場の研修や講演会、パネル展など、人権について学ぶ機会が「なかった」と回答していることから、今後、さらなる啓発活動が必要であると考えます。

今回の調査結果を踏まえ、性の多様性についての社会的理解を広げるための取り組みを推進してまいります。

### 3. 調査結果

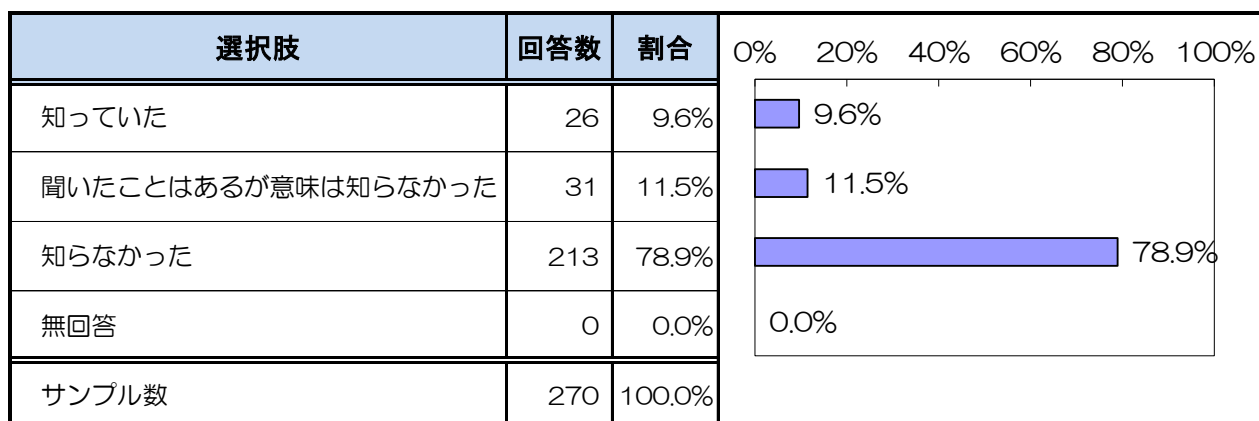
#### 問 11 性的少数者の総称の一つである「LGBT」という言葉を知っていましたか。(単数回答)

「知っていた」が81.9%、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」が14.1%、「知らなかった」が4.1%となっています。



#### 問 12 「SOGI (ソジ・ソギ)」という言葉を知っていましたか。(単数回答)

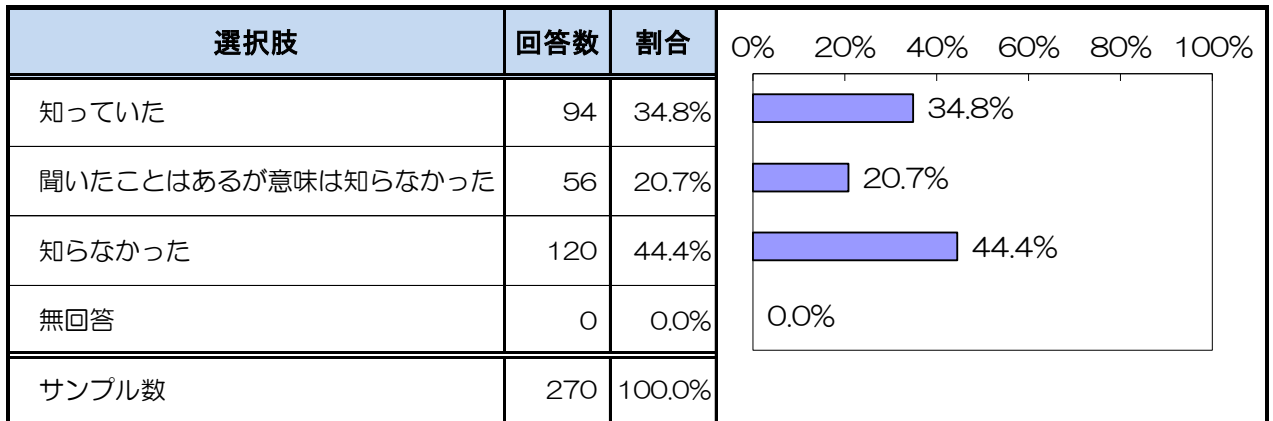
「知っていた」が9.6%、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」が11.5%、「知らなかった」が78.9%となっています。





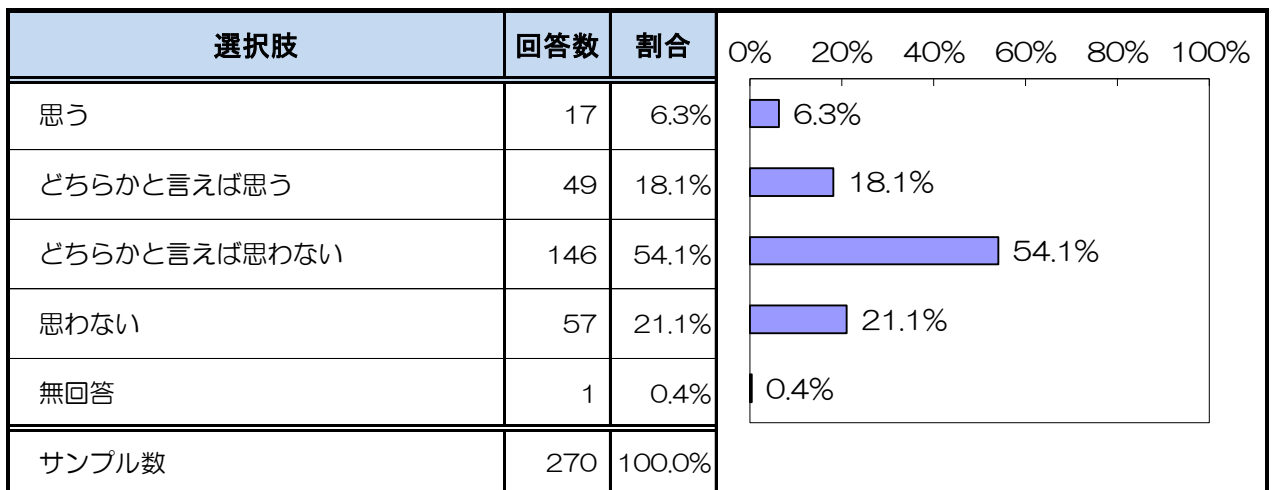
問 13 本市で性的少数者（LGBTなど）への支援策として実施している「鹿児島市パートナーシップ宣誓制度」について知っていましたか。  
（単数回答）

「知っていた」が 34.8%、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」が 20.7%、「知らなかった」が 44.4%となっています。



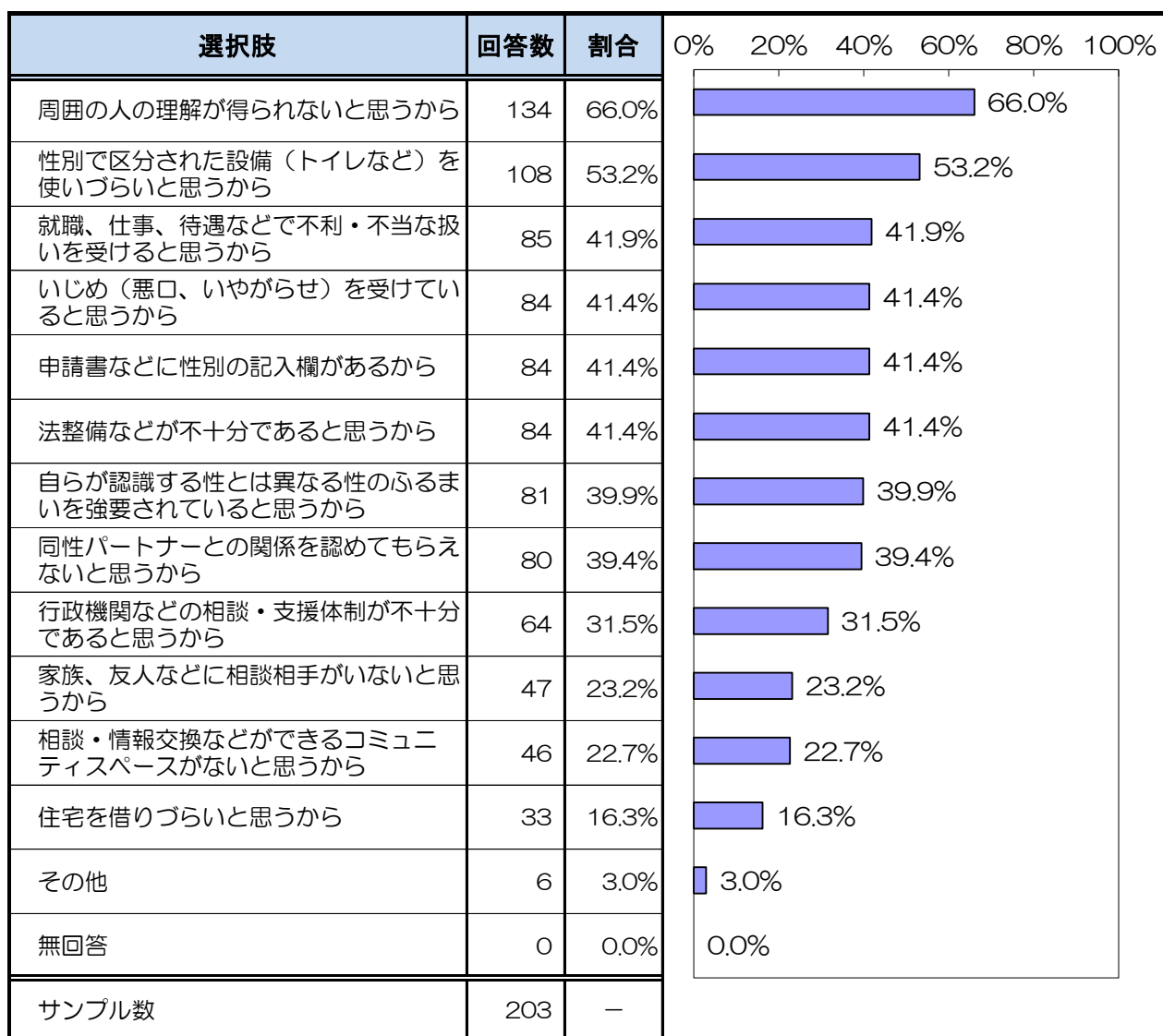
問 14 現在の社会は、性的少数者の方々にとって、偏見や差別などの人権侵害のない生きやすい社会だと思いますか。（単数回答）

「どちらかと言えば思わない」が 54.1%と最も高く、次いで、「思わない」の 21.1%、「どちらかと言えば思う」の 18.1%の順となっています。



問 15 問14で「3. どちらかと言えば思わない」「4. 思わない」とお答えした方にお伺いします。そう思う理由は何ですか。(複数回答)

「周囲の人の理解が得られないと思うから」が66.0%と最も高く、次いで、「性別で区分された設備（トイレなど）を使いづらいと思うから」の53.2%、「就職、仕事、待遇などで不利・不当な扱いを受けると思うから」の41.9%の順となっています。



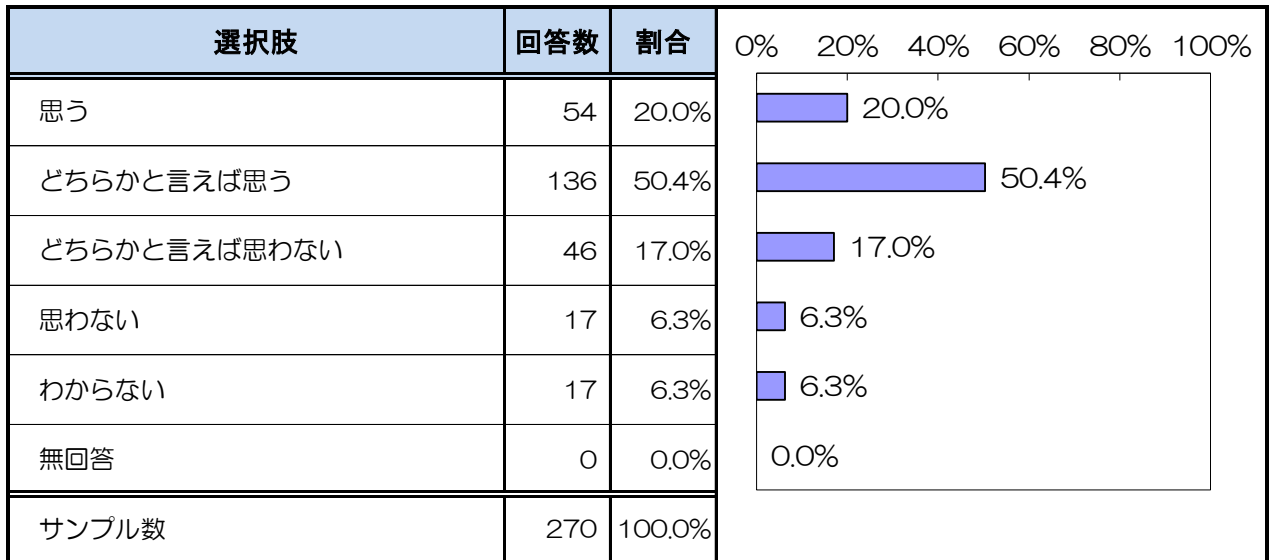
◆その他の回答（原文まま）

- ・あれは病気だとか、育て方が悪かったなど、高齢者からの心無い言葉を浴びせられることが多い。生活の中で、傷つけられる体験があらこちらにある。
- ・性的少数派だけに限らず、全ての事において少数派が多数派の中で全く差別などを受けず、多数派の方々と同じような生活を送るという事自体が不可能だと思う。理想として言いたい事はもちろん分かるが、現実にもその理想をねじ込もうとするのは逆効果な気がする。
- ・生命保険など入りにくくなるから。
- ・偏見がある人の好奇の目に晒されていそうだから。
- ・日本人は多様性について受け入れにくい文化が根強いのではないかと感じるから。

※不適切な表現がみられた意見については、削除しております。

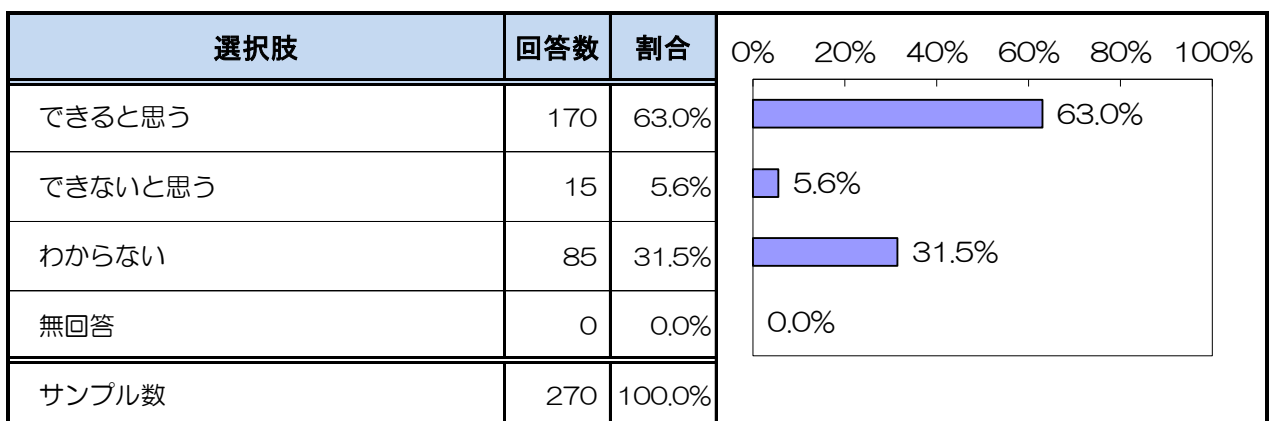
問 16 L G B Tに関する社会的な意識が高まっていると思いますか。  
(単数回答)

「どちらかと言えば思う」が 50.4%と最も高く、次いで、「思う」の 20.0%、「どちらかと言  
えば思わない」の 17.0%の順となっています。



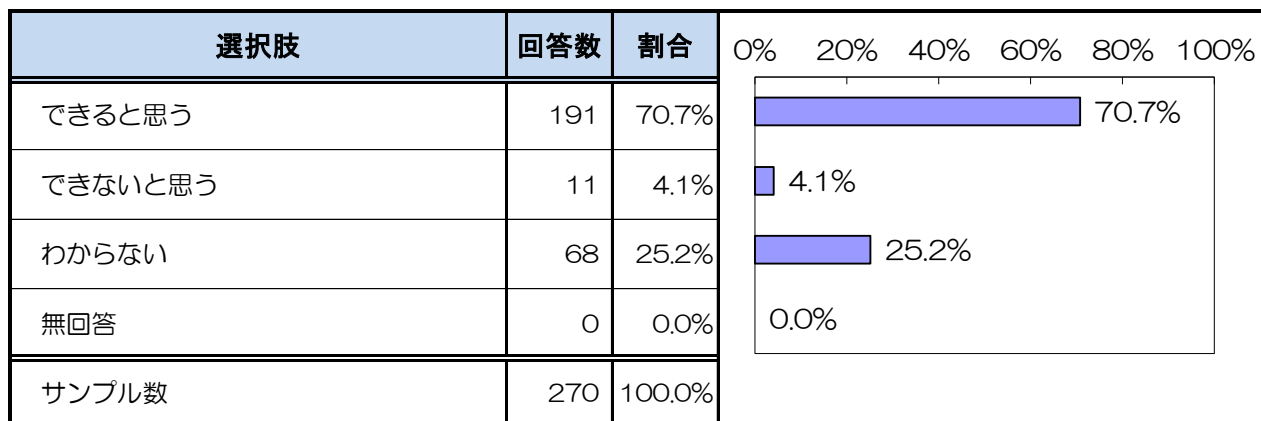
問 17 家族や友人など身近な方が L G B T などであった場合、あなたはこれ  
までと変わりなく接することができますか。(単数回答)

「できると思う」が 63.0%、「できないと思う」が 5.6%、「わからない」が 31.5%となっ  
ています。



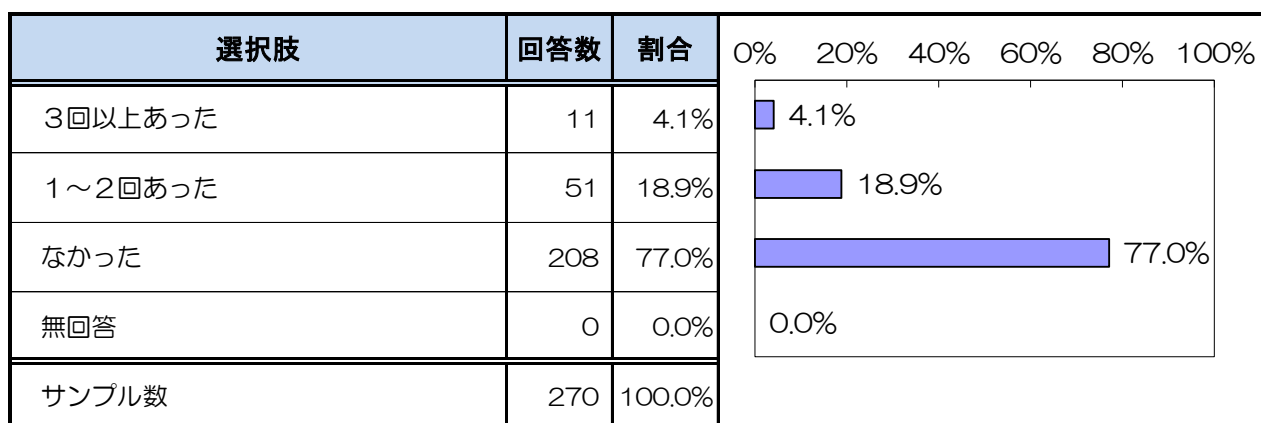
問 18 学校や職場の人がLGBTなどであった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。(単数回答)

「できると思う」が 70.7%、「できないと思う」が 4.1%、「わからない」が 25.2%となっています。



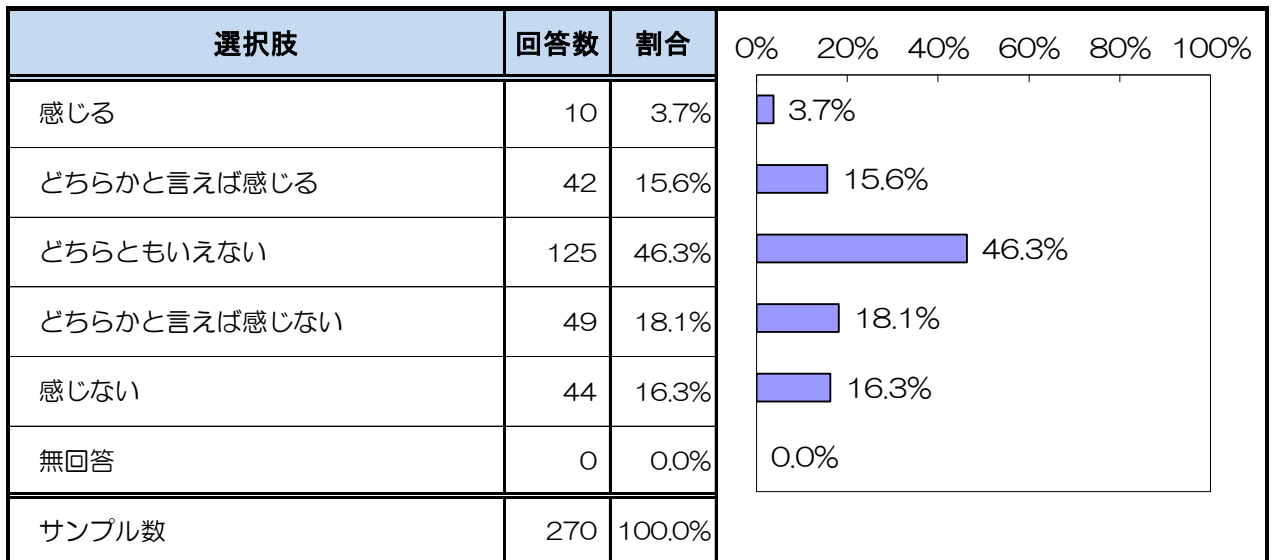
問 19 あなたは、過去1年間に、地域・職場の研修や講演会、パネル展など、人権について学ぶ機会がありましたか。(単数回答)

「3回以上あった」が 4.1%、「1～2回あった」が 18.9%、「なかった」が 77.0%となっています。



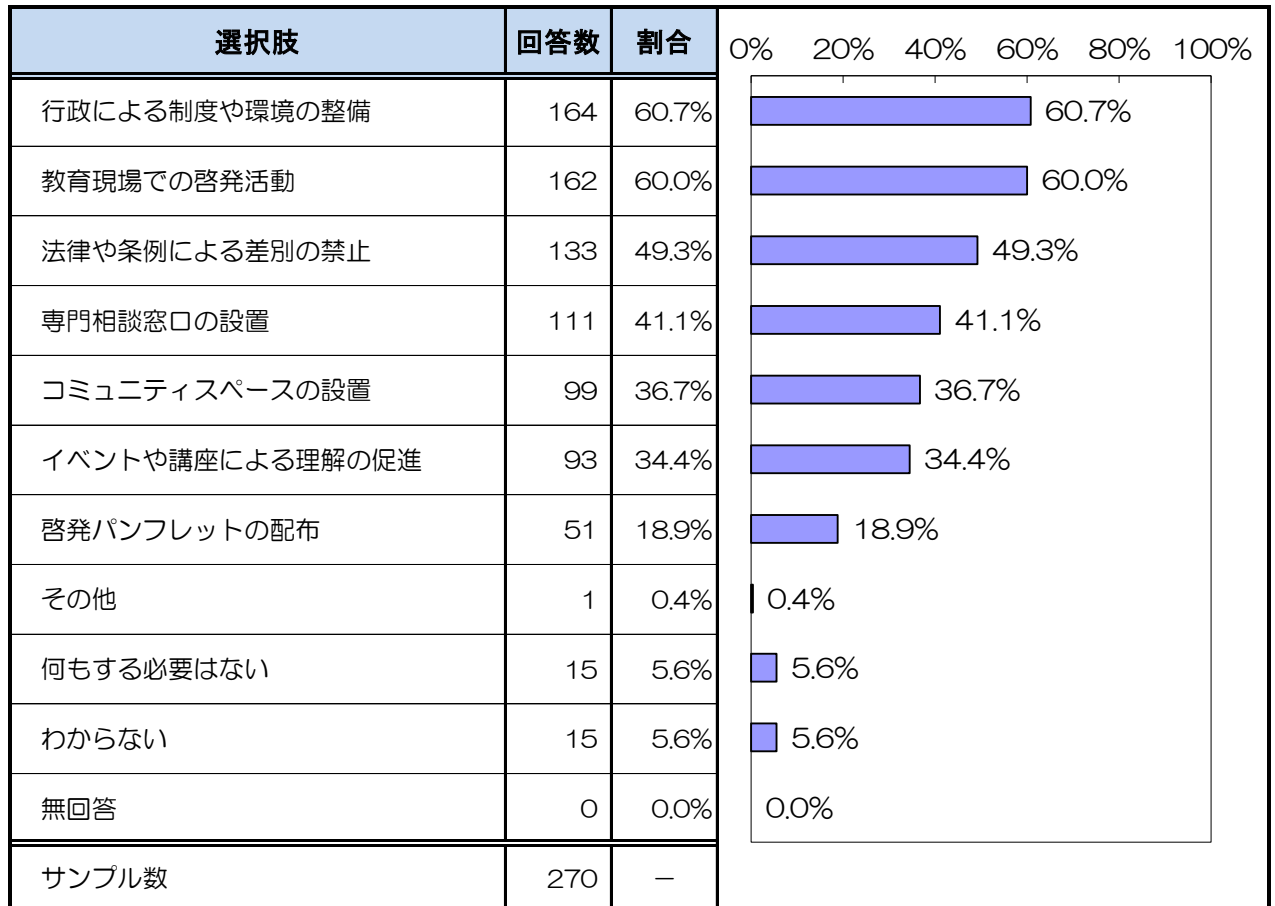
問 20 鹿児島市は、一人ひとりの人権や多様性が尊重され、性別や年齢、国籍などにかかわらず、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりが進んでいると感じますか。(単数回答)

「どちらともいえない」が 46.3%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば感じない」の 18.1%、「感じない」の 16.3%の順となっています。



問 21 L G B Tなどの性的少数者の方々が生活しやすい社会になるためには、  
どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答）

「行政による制度や環境の整備」が 60.7%と最も高く、次いで、「教育現場での啓発活動」の 60.0%、「法律や条例による差別の禁止」の 49.3%の順となっています。



◆その他の回答（原文まま）

- ・若い世代の方々はこのような問題に対しての意識は元から高いし、私のような 40 代の人間よりずっと多様性に対する理解は深い。しかし 50 代後半以上くらいの年代の方々は、この多様性に対する意識はかなり低いと感じる。人口比率が高い年代に対して理解を求める活動に絞る事は必要な課題であると感じる。

問 22 性的少数者（LGBTなど）やパートナーシップ宣誓制度について、  
ご意見があればお聞かせください。

◆回答一覧（原文まま、一部重複有）

・性的少数者に対する意見について

回答内容	性別	年代	地域
LGBTの方を特別扱いすることの方がどうかなあと思うこともある。周りの人が差別を無くそうと声を上げることでLGBTの方々の自己主張が強くなりすぎていく傾向にあると感じています。周りは何もしてくれないとか優しくないとか。「特別扱いすることなく」がいいのではないのでしょうか。	女	40歳代	谷山
LGBTの本を読んだことがあります。LGBTの方は芸能人にも多く、現在は個性として世間に認知されていると感じます。性も多様性があって良いと思います。	女	30歳代	谷山
どうでもいいし、好きにしろというスタンスです。	男	30歳代	中央
悪意のない発言こそ対象者にとっては辛いと思われるので、相手のことをよく知ろうとしないといけないと思う。	男	60歳代	伊敷
運動する側ももう少し考えた方が良いと思う。権利だけを主張しすぎると反発が生じる。	男	50歳代	吉野
今の私には理解し得ない。	男	60歳代	中央
自己責任の話しであって行政が必要以上に介入する話ではない	男	50歳代	松元
殊更に特別扱いする必要はないと思う。	女	40歳代	中央
少数者、男、女どうであれ人としては一緒。結婚とは子どもが作れる者のもので良いと。作るか作らないかは当人の問題だが、少数者の場合はやはり結婚ではなく同居が良いと思う。そこは差別ではなく区別だと。少数者を差別とか言うが、鹿児島であれば強い男尊女卑も差別では無いだろうか。今でも女は、かなり生きにくいと思う。	女	50歳代	中央
親として、子どもがそうなったら受け入れ難いと言うのが率直な気持ちです。	女	40歳代	吉田
世界的な取り組みとしてやむを得ないことを理解した上での話です。明日、食べられなくて亡くなってしまう子どもたちに温かいご飯を食べさせてあげることが最優先課題だと思っています。性的少数者の苦悩も分かれますが、彼らの中にもそれを売りにしたりして強く生きている方もおられます。行政として明日消えてしまう命を1つでも救ってもらえませんか？	男	40歳代	桜島
声の大きい少数者を優遇するがゆえに、そうでない多数が置き去りにされないことを望む。	男	30歳代	中央
特別な取り組みをする必要はなく、性的多数者と同じように接すればよいと思う。	女	29歳以下	中央

・広報・周知・啓発について

回答内容	性別	年代	地域
アセクシャルも取り上げてほしい	男	30歳代	中央
とにかく啓発活動が必要です。	男	60歳代	伊敷
もっと■や鹿児島市のヤフーサイトなどでお知らせするべき	女	40歳代	伊敷
鹿児島市が積極的に活動をしているというのは知らなかった。知ることのできる情報を発信していくことはできるので、知る機会を増やすと言うのも大事だと思うが、インフルエンサーを起用しても良いと思う。	男	29歳以下	中央

回答内容	性別	年代	地域
人権委員の方々が、学校だけでなく、企業に人権教室に行かれている回数が増えて来ているので、とても良いことだと思っています。	女	70歳以上	郡山
性的少数者に対してどのような対応が傷つけずに済むのか分からないため、それを教える活動を行うべきだと思う	男	29歳以下	吉田
昔に比べたら違和感無く受け入れられるが、身近な友達がそうだったら、すぐ変わらぬ対応が出来るか自信がないので、もっと LGBT について詳しく知る必要がある気がします。知る事で理解が深まると思うので、もっとイベントや講座等を行ったらいいと思います。	女	50歳代	中央
特に年配者は馴染みがない人が多いと思うので、パンフレットなどによる周知が必要だと思う。	女	60歳代	中央
年齢層によって認知度や感じ方に差があるので若い人へ情報が伝わりやすいですが年配の人への周知に力を入れた方が良いと思う。新聞やラジオ、地元テレビなど情報を得るツールが大事だと感じます。	女	40歳代	谷山
比較的若い方は理解できているが、年配の方は全く理解できていないと感じる。	女	40歳代	伊敷
理解や共有するにあたって、個人差や世代間の受け止め方に差が大きい問題だと思われるので、世界と並べるよう、全世代の人が理解して受け入れられる社会になるよう、丁寧にわかりやすく根気よく継続していく問題だと感じています。	女	40歳代	中央
若い人は最近の事柄について柔軟に受け入れると思うので、行政による知る機会の増加により、LGBT などへの理解も早いはず。問題は高齢者の方々への啓発運動。知ってもらうにあたって相当な工夫がないと理解されないだろう。	男	29歳以下	中央

## ・制度や法の整備について

回答内容	性別	年代	地域
ご本人から開示して受け入れるコミュニティや環境作りが大事。	男	30歳代	中央
最近、マスコミ等でも LGBT という言葉を頻繁に聞くようになったので、どんどん現状を改善していき、暮らし易い世の中になったら良いと思います。	女	60歳代	中央
どんな理由であれ一人の人間として平等であるべきと思う	女	50歳代	喜入
一度しかない人生をもっと前向きに進んでほしいと思っています。そのためには大変でしょうが、もっと行政に頑張っていただきたいと思います。	女	70歳以上	中央
私の友人でも数名 LGBT の方がいますが、鹿児島は理解が遅れており、偏見(特に年配者の)があり住みにくいということで都会で過ごしています。鹿児島ももっと住民が理解できるように行政としても支援していただけたらいいのかなって思いました。	女	30歳代	中央
周囲にいなかったのが少し考えるのが難しかったです。でも、今後このような方々は増えると思うので、1人1人の意識が大切になるのかなと改めて感じました。	女	30歳代	中央
職場での LGBT への平等な対応をして欲しい。LGBT が分かった時に居づらくなり退職になるケースがあった。	女	50歳代	中央
性的少数者で有る無しにかかわらず、普通に生活出来る社会が理想ではあると思いますが、トイレ等の使用についてはきちんと議論して欲しいです。突然入ってこられてびっくりしたことがあります。	女	50歳代	中央
法の整備を行い、皆が理解できる機会を増やし、理解を得るようにしたらいいと思う。	男	50歳代	中央



回答内容	性別	年代	地域
性的少数者も LGBT という言葉で区切れないほど多種に分かれているので、なかなか本質的に理解することは難しいと思う。なおかつ、性的少数者の方が隠している、または表に出てこないことも周りが理解が遅れる要因だとも思うので、もっとオープンにしてもいいと思う。今は納得はできずとも、頭では理解を示す人も多いと思う。トイレに関しては、男女マークは今まで通りあって、中間マーク的な表示で3種類あればいいと思う。	女	30歳代	中央

## ・性的少数者を取り巻く環境について

回答内容	性別	年代	地域
30年前と比べて性的少数者に対する社会の理解が変化していると感じる。	男	60歳代	谷山
性の多様性も人権の一つとして認められているかわからない。	男	60歳代	谷山
マイノリティも当たり前になるような世界になって欲しい。	女	50歳代	伊敷
一歩前進だがまだ認知度が低い。	男	70歳以上	中央
個人、個人の事である。理解はしてあげたい	女	60歳代	谷山
鹿児島では男尊女卑、年功序列が強いので理解が得られないと思う。	女	29歳以下	伊敷
現在は以前と違って悩んでおられる方も、少しは前向きに進んでいるかなと思います。	女	70歳以上	中央
好きになった相手が同性だろうが異性だろうが等しく尊いと感じられるような社会になってほしいです。	男	29歳以下	谷山
性的少数者の方が居ても普段通り接していれば良いと思っています。偏見差別はなくした方が良いです。	男	40歳代	中央
昔に比べたら徐々にだか認められて来たような気がする。人格を認めてあげる心を持って行くよう努めていきたい。	女	60歳代	中央
閉鎖的な土地柄だと思いますが、勇気をだして時間をかけて理解しあえる日がきますように。	女	50歳代	中央

## ・パートナーシップ宣誓制度について

回答内容	性別	年代	地域
「鹿児島市パートナーシップ宣誓制度」について、もう少し行政側が市民に対して、啓発する方策を考え、広報する機会を多く望む。	男	70歳以上	伊敷
パートナーシップ宣誓制度によって、どの程度「婚姻関係にある夫婦」に近い権利が保証されているのかを具体的に知りたい。	女	40歳代	谷山
よい取り組みだと思う。	男	60歳代	中央
何かの権力が宣誓制度を取り入れたからといって、第三者の意識に大きな変化を与える事は殆ど無いと思う。しかし、LGBTで悩んでいる当人の立場からすれば宣誓制度のような後押しがある事はとても心強く感じるだろうし大きな心の支えになると思う。あとは、何にせよ理解を求める事は良いが強制されているように感じてしまうような啓発や運動は逆効果になりかねないので、そのバランスは強く意識する事が大切なのではと感じる。	男	40歳代	谷山
希望する方々がいるのできちんとした制度を作って対応したほうが良いと思う。	女	60歳代	中央
早期の取り組みがよい。	男	60歳代	中央
認められにくい結婚などは鹿児島では認められるようになればいい。	女	50歳代	谷山
良い事です。	男	60歳代	中央

・学校や家庭での教育について

回答内容	性別	年代	地域
家庭での教育が大きいと思う。	女	30 歳代	郡山
近年性的少数者に対する社会の受け入れ方は変化していると思う。義務教育や社会教育の場で理解を深める必要があると思います。	男	60 歳代	谷山
高齢者等においては、中々LGBT について理解しがたいものと思われるが、今から未来に向けて生きていく子どもたちに理解してもらえる様に教育現場で幼いうちから啓発していくべき課題だと思います。	女	50 歳代	中央
私は LGBTQ 当事者か分かりませんが、鹿児島市でパートナーシップ宣誓制度が始まったことは大変嬉しく思いました。それでもまだまだ偏見や差別は消えていません。なので理解促進を促す活動はもっと活発的に行って欲しいと思っています。LGBTQ と言っても本当に様々な性があるので、それらを学ぶ機会を学校教育の中でも組み込んで欲しいと思います。	女	29 歳以下	中央
周りの方にも聞いてみましたが知ってる人はいませんでした。多様な生き方が求められている時代になっています。ひとりひとりが受入れられるようになりたいものです。そのためにも幼い頃からの教育が大切だと思います。	女	70 歳以上	松元

・その他

回答内容	性別	年代	地域
まちづくり協議会に参加していますが、活動目標に「女性学級」という単語が出て来ました。地域活性活動と市や政府の目標とはかなりのズレがあるのではないのでしょうか。	女	50 歳代	郡山
自由回答がスマホで入力、編集しづらい(1行で幅も変わらず、書いた内容も見返せないし、書き直したい箇所が押せない)	女	29 歳以下	伊敷
身近に居ないから考えたことがなかった。しかし、今後は自由な形で人間は生活していくんだろうな…と自分自身はその世界についていけなくなるんだと思うと怖い。	女	50 歳代	吉野
よく分かりません。	女	29 歳以下	伊敷
特にないです。	女	29 歳以下	伊敷
特になし。	男	70 歳以上	吉野
別にありません。	男	60 歳代	中央

## IV コロナによるコミュニティの活動及び意識の変化 について

### 1. 調査の目的

町内会は、住民みんなが安心・安全で快適に暮らすことのできる環境づくりのため、「防犯灯やごみステーションの維持管理」、「町内清掃」などの生活環境に関するもの、「敬老会」や「夏祭り・六月灯」などの住民の親睦交流に関するもの、「高齢者慰問・声かけ」などの福祉活動に関するものなど様々な活動を行っています。

今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域のつながりや町内会の活動が大きな影響を受けたと思われることから、持続可能な地域コミュニティを構築するため、同感染症の影響下における人々の地域とのつながりや町内会に対する認識・活動への意識の変化に関する意識調査を行い、今後の施策や町内会への情報提供に役立てたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をお願いします。

### 2. 調査結果を受けて担当課（地域づくり推進課）からのコメント

新型コロナウイルス感染症の影響下における人々の地域とのつながりや町内会に対する認識・活動への意識の変化について、市民の皆様のを考えるためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

町内会に加入されている方の新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした町内会活動への関わり方に関しては、「変わらない」が 58.9%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば消極的になった」の 26.2%、「消極的になった」の 8.3%となっていることがわかりました。また、同感染症拡大の影響により町内会におけるイベントや各種活動等が中止となったことに関しては、「仕方ない」や「コロナ禍により活動の見直しがなされたことはよかった」とのご意見がある一方で、「寂しい」、「地域のつながりが希薄になったように感じた」や「いろいろ工夫して開催できれば」などのご意見もいただきました。

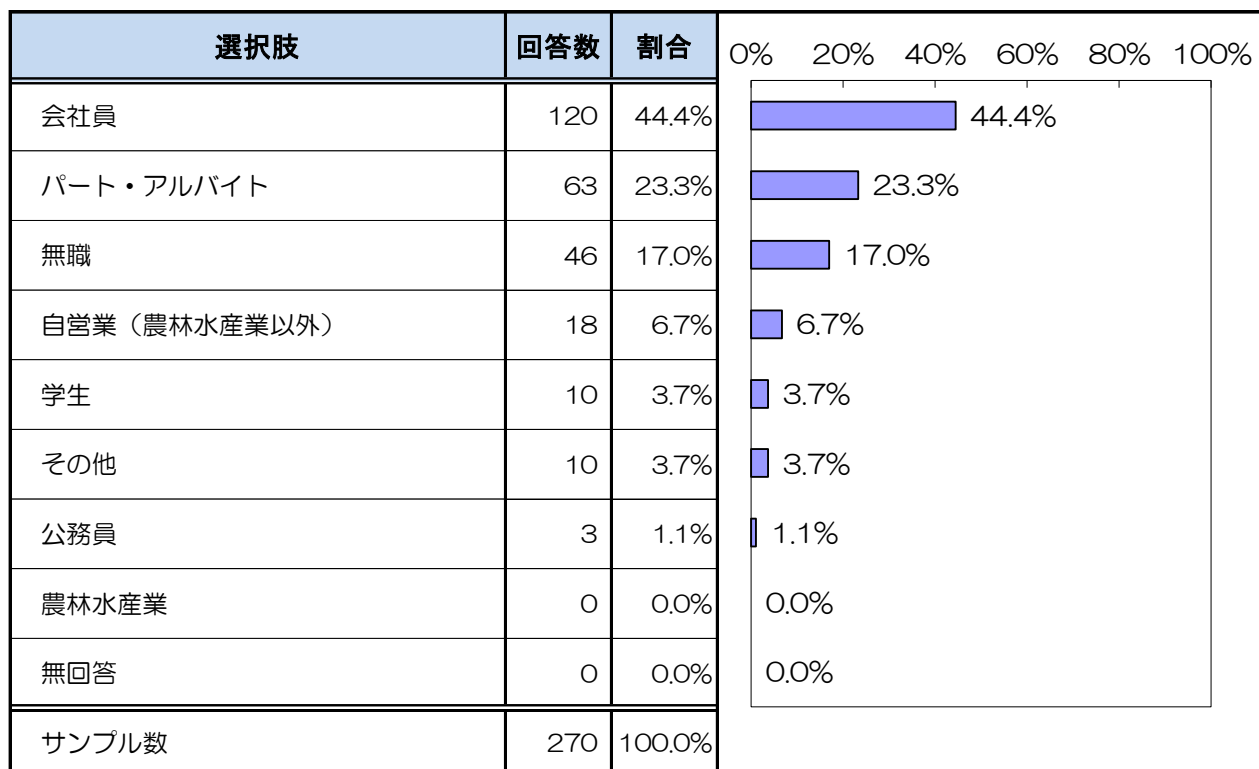
また、町内会活動や役員業務を負担に感じているとのご意見も多くあったことから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、時代や地域住民のニーズに合った活動や運営への見直しの必要性を再認識いたしました。

今回の調査結果につきましては、町内会等に周知するとともに、ご意見等を踏まえ、コロナ禍における持続可能な地域コミュニティのあり方を引き続き検討してまいります。

### 3. 調査結果

#### 問 23 職業について教えてください。(単数回答)

「会社員」が 44.4%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト」の 23.3%、「無職」の 17.0%の順となっています。

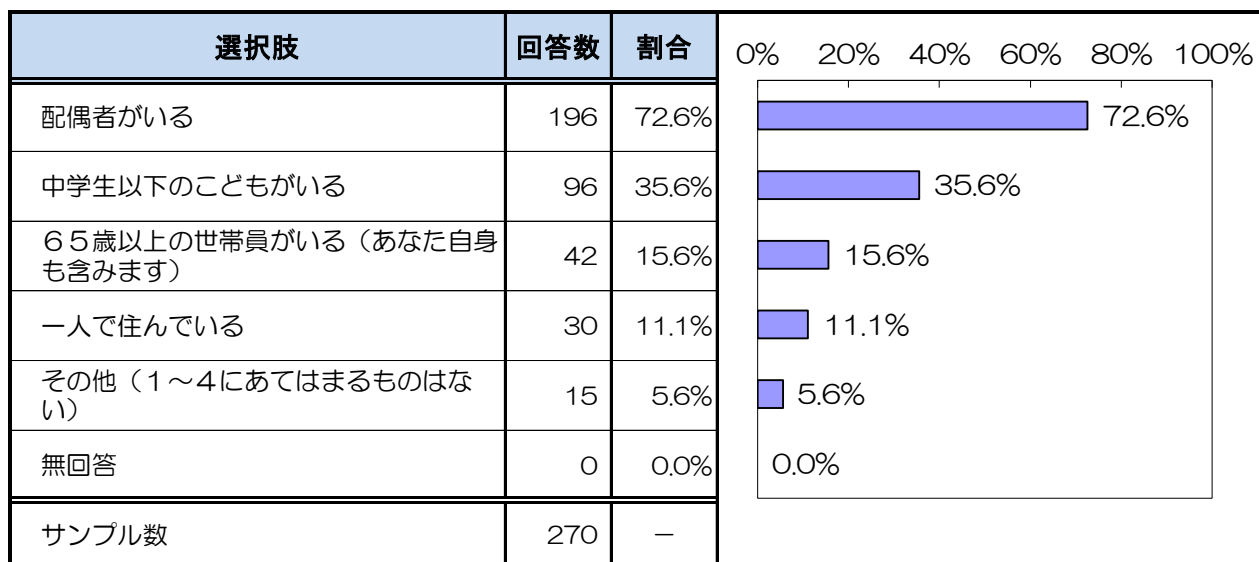


#### ◆その他の回答（原文まま）

- ・専業主婦 2件
- ・年金生活者 2件
- ・イラストレーター
- ・ヘルパー
- ・鹿児島市内で家族経営している個人の神主見習い
- ・看護師
- ・個人事業とパートを掛け持ち
- ・非常勤職員

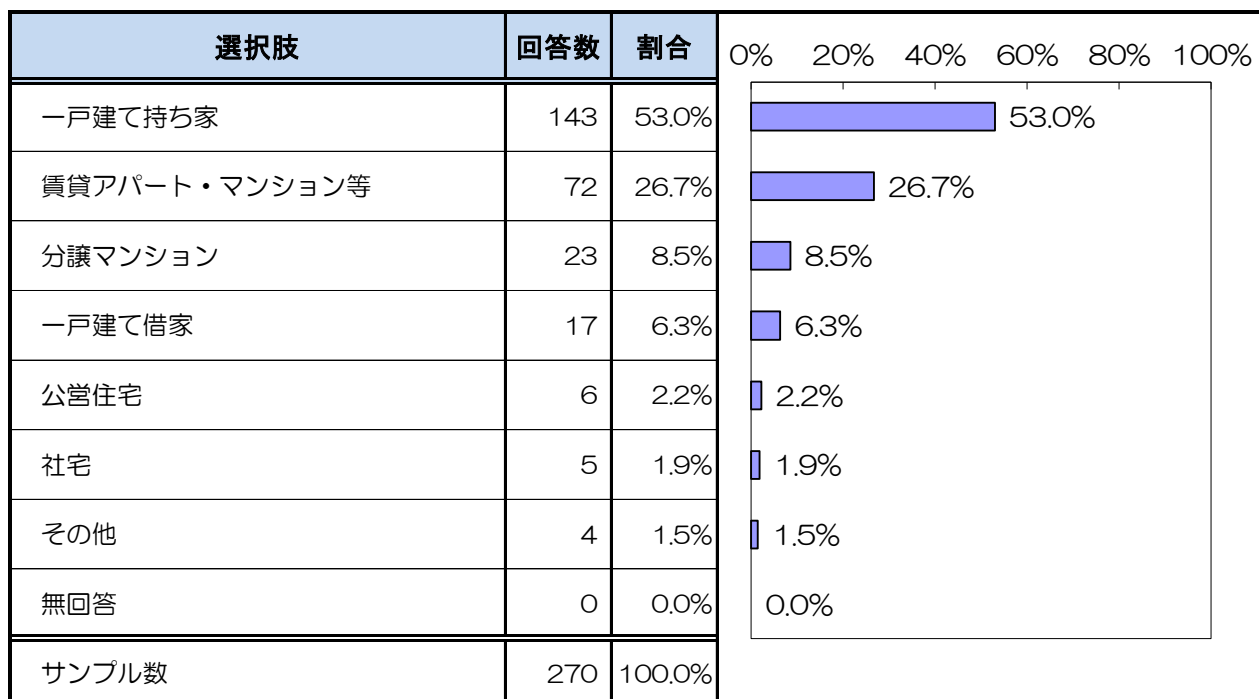
## 問 24 世帯構成について教えてください。(複数回答)

「配偶者がいる」が 72.6%と最も高く、次いで、「中学生以下のこどもがいる」の 35.6%、「65歳以上の世帯員がいる（あなた自身も含まれます）」の 15.6%の順となっています。



## 問 25 お住まいの住居について教えてください。(単数回答)

「一戸建て持ち家」が 53.0%と最も高く、次いで、「賃貸アパート・マンション等」の 26.7%、「分譲マンション」の 8.5%の順となっています。

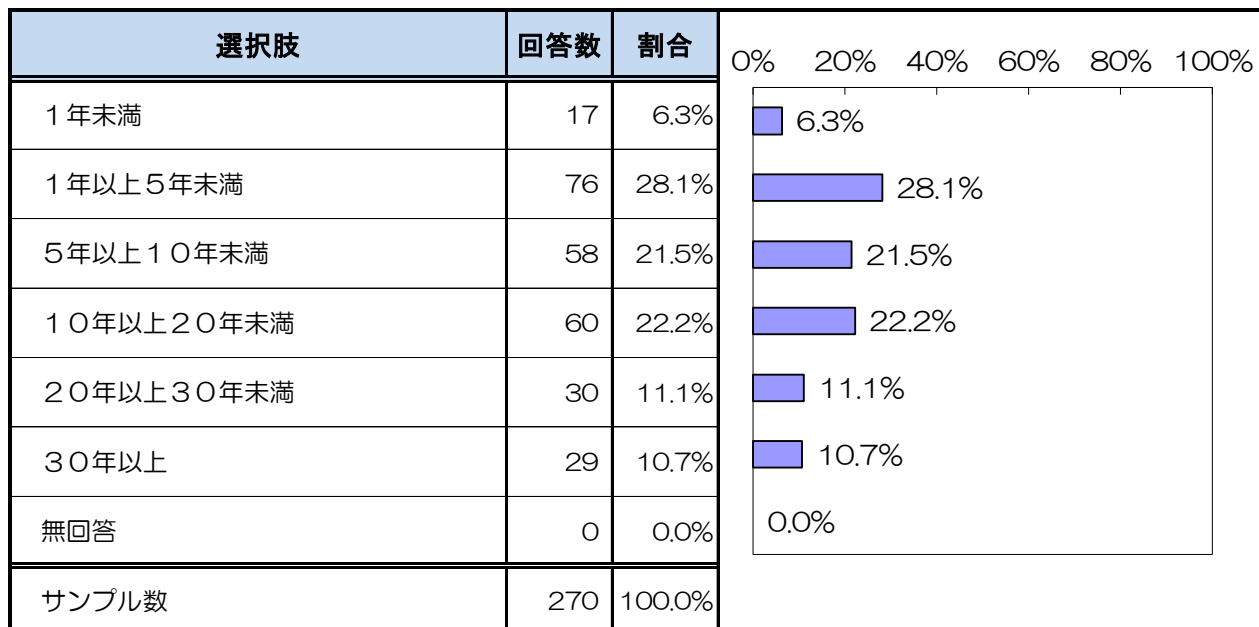


### ◆その他の回答（原文まま）

- ・マンション持ち主
- ・個人の神社で宗教法人の住居
- ・親の持ち家一戸建て

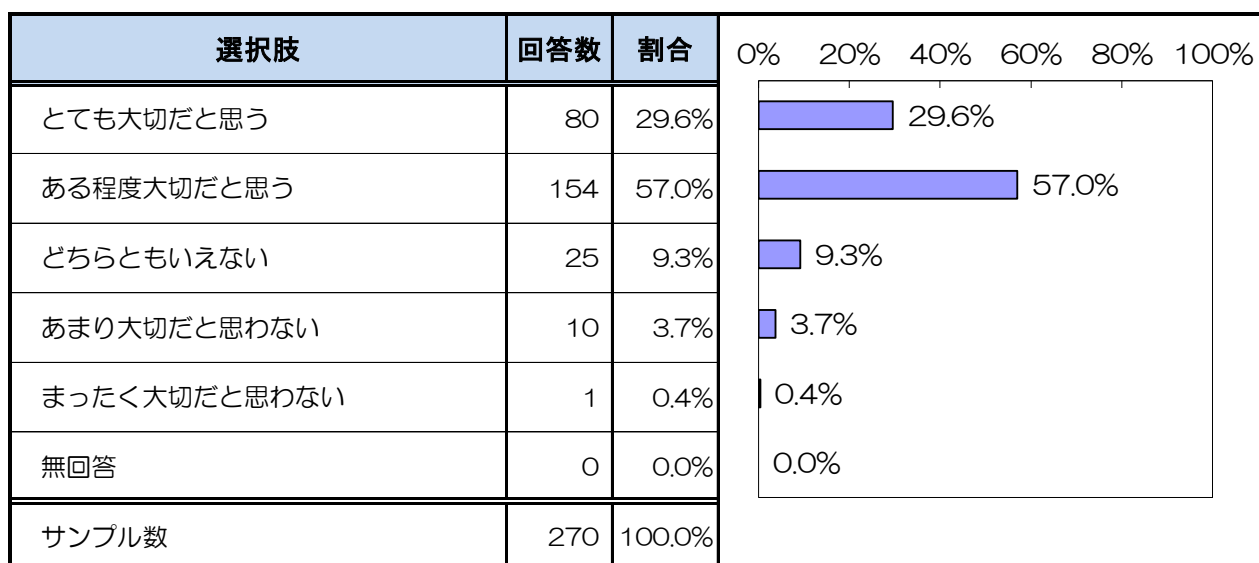
問 26 今お住まいの住居での居住年数について教えてください。(単数回答)

「1年以上5年未満」が28.1%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」の22.2%、「5年以上10年未満」の21.5%の順となっています。



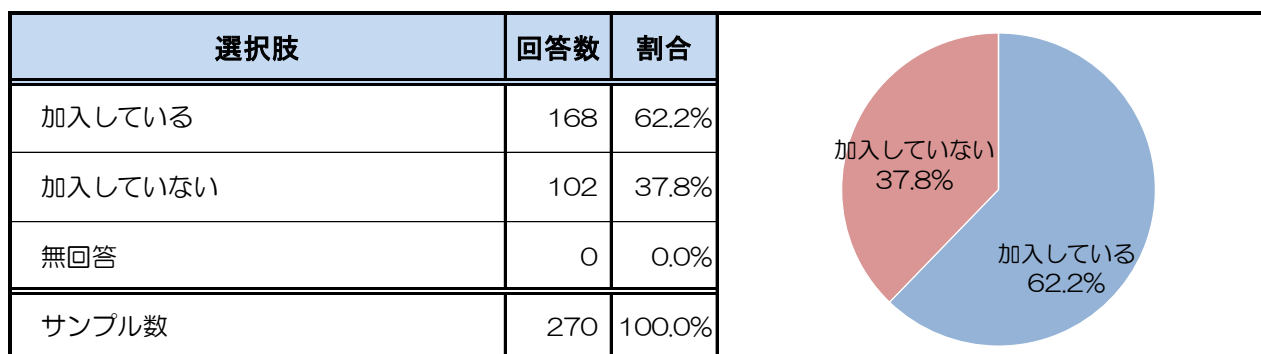
問 27 あなたは地域とのつながりは大切だと思いますか。(単数回答)

「ある程度大切だと思う」が57.0%と最も高く、次いで、「とても大切だと思う」の29.6%、「どちらともいえない」の9.3%の順となっています。



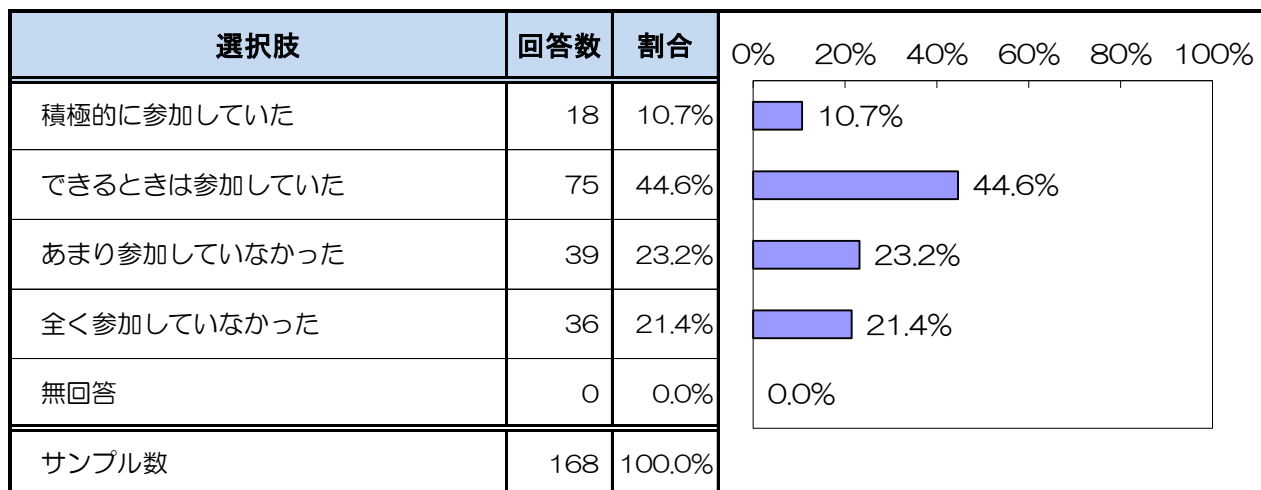
問 28 町内会に加入していますか。(単数回答)

「加入している」が62.2%、「加入していない」が37.8%となっています。



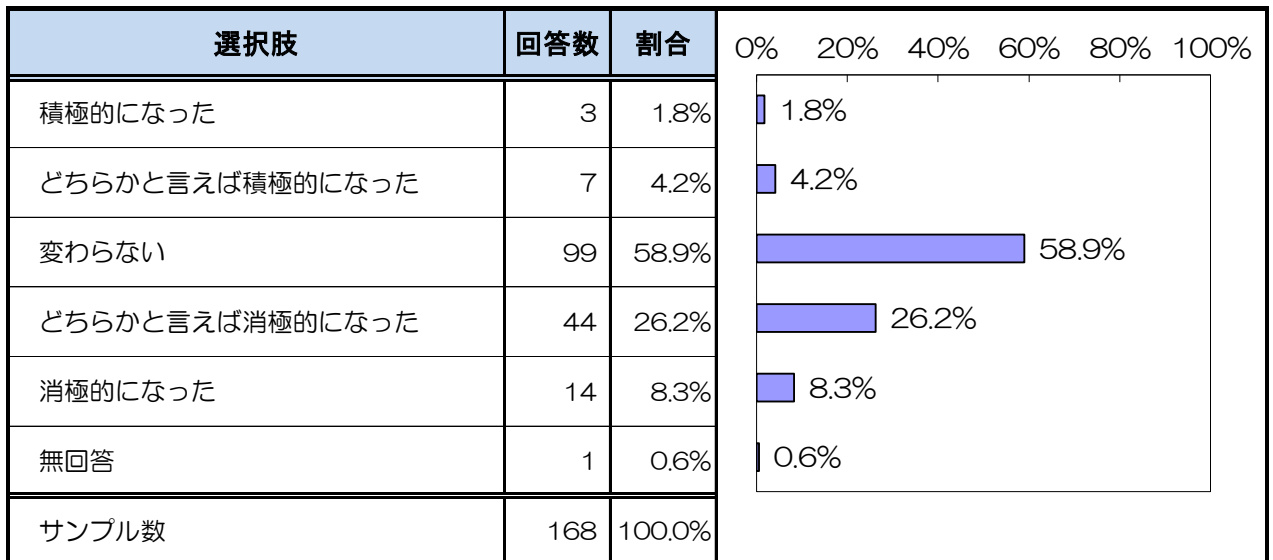
問 29 問28で「1. 加入している」とお答えした方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症拡大前、町内会活動に参加をしていましたか。(単数回答)

「できるときは参加していた」が44.6%と最も高く、次いで、「あまり参加していなかった」の23.2%、「全く参加していなかった」の21.4%の順となっています。



問 30 問28で「1. 加入している」とお答えした方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、町内会活動への関わり方に変化がありましたか。(単数回答)

「変わらない」が58.9%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば消極的になった」の26.2%、「消極的になった」の8.3%の順となっています。





問 31 問28で「1. 加入している」とお答えした方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、町内会におけるイベントや各種活動等が中止となったことについて、どのように感じましたか。  
(自由記述)

◆回答一覧 (原文まま)

回答内容	性別	年代	地域
2年前はコロナというものが恐れられていたので、中止はやむおえないと思っていました。大人数になるので活動中止は当然と認識していました。	女	60歳代	中央
ある程度、仕方ない。	男	60歳代	伊敷
いい判断だと思った。	女	30歳代	喜入
お年寄りの外出の場が少なくなり残念。	女	40歳代	吉野
感染拡大を防ぐために当然だと思われませんが。	男	70歳以上	中央
クラスターが発生した場合、報道されるのではないかと恐怖感を皆持っていた。	男	50歳代	松元
コロナが拡大する疑いがあるものは、中止で良いと思います。	女	60歳代	谷山
コロナが落ち着きはじめても活動をしていないことから明らかにやる気がなくなったと感じる。	男	29歳以下	吉田
コロナで楽しみにしていたイベントが中止になりやるせない気持ちである反面、コロナ感染拡大防止策であるから仕方ないと感じた。	男	50歳代	中央
コロナにより町内会行事やPTA活動等中止になり、寧ろ楽だったと言う声を聞きました。時代に見合った町内会の在り方を考える良い機会ではないでしょうか。	女	50歳代	中央
コロナの時は中止も仕方ないことだと思った。	女	60歳代	谷山
コロナ禍であり、やはり感染を考えると、仕方ないかなと残念な気持ちでした。これからもまだまだ続くと思いますが、感染を考えての活動が出来ればいいなと思います。	女	70歳以上	中央
コロナ禍により自治会の活動の見直しがなされた事はとてもよかったと思います。ただ年配の方達は活動することで楽しめる行事もありますので感染予防対策をしながら行って行こうと思っています。	女	70歳以上	松元
コロナ感染拡大から見て行事実施は難しいと思いますが、いろいろ工夫して開催出来れば！と思います。	女	40歳代	谷山
コロナ前は住んでいる義務感で参加していたが、感染症流行により。色々と中止や、簡略化され、とても楽になった。町内会行事、あいご行事で、毎週末予定が埋まる月もあったので。簡略化できるなら、感染症終息後も継続すべきだと思う。	女	40歳代	伊敷
さびしい	女	50歳代	中央
さびしい	男	30歳代	谷山
さみしい	男	70歳以上	吉野
さみしいなど	女	50歳代	伊敷
寂しい	女	50歳代	中央
寂しくなった。	女	60歳代	桜島
寂しく感じたが、仕方ないとも思う。	女	30歳代	郡山
しょうがないと思う。	男	40歳代	伊敷
新型コロナウイルス感染症拡大により町内会のイベントや各種活動が中止になって少しでも感染者を増やさないという意味でも中止という形をとったのは正解だと思います。	男	60歳代	中央

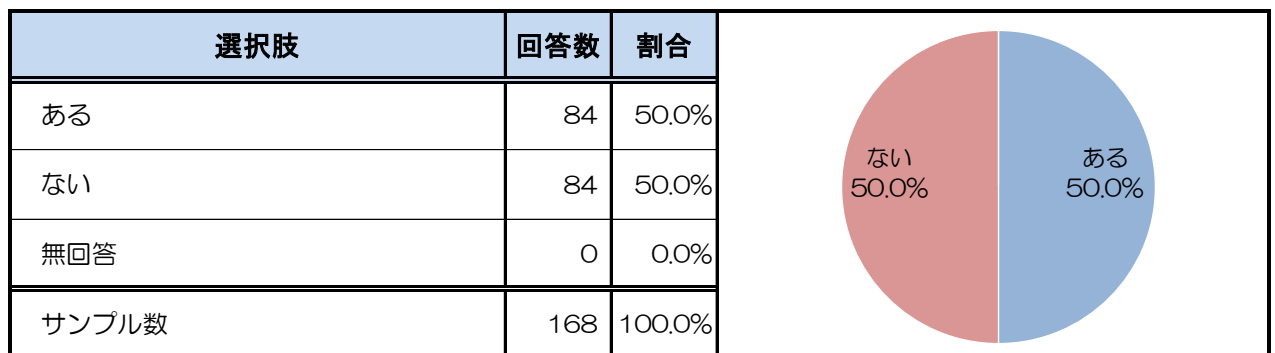
回答内容	性別	年代	地域
それまで強制的な参加を求められてたものもあったと聞いたことがあったので、これを機にイベントについて見直し出来るきっかけとなればいいと思います。	女	40歳代	喜入
町内会員の交流が少なくなり、活動が再開できる日を皆望んでいると思う。イベントや各種活動にかわるものを取り入れて、コロナが終束することを望む。	男	70歳以上	伊敷
とくに変わらず行われていると思う。	女	40歳代	中央
とても楽になりました。	女	30歳代	谷山
とても淋しく感じています。地区のコミュニケーションが薄れていくような感じがしました。	女	50歳代	喜入
なくても大丈夫だと思いました。	女	50歳代	中央
なくなって良かったと感じた。イベントが多すぎる。	女	30歳代	谷山
マンションなので入っていると思う。ゴミを捨てられているので。	女	50歳代	中央
やむを得ない	男	70歳以上	中央
やむを得ないと感じた。	男	40歳代	桜島
やむを得ないと思う。	女	40歳代	中央
やむ得ない選択だと思う。	女	50歳代	吉田
余った予算が不当に使われていないかだけ心配。	女	40歳代	中央
安易に中止するのではなく、活動のやり方を検討してほしい。	男	70歳以上	中央
医療従事者が多い地域で、町内会が活発な事に不安がありました。お年寄りも多いので、あいご会との交流も減りましたが、活動が自粛となり良かったです。	女	30歳代	喜入
活気が無くなった。	女	50歳代	中央
感染拡大をしてからの移住であり、前後での比較ができない。	女	40歳代	伊敷
感染拡大を危惧すると仕方ないのかなと思います。	女	40歳代	谷山
感染拡大を考えると致し方ないと思う	女	40歳代	中央
感染拡大を受けて仕方ない事だと思った。イベントが、なくなり寂しい感じがします。	女	60歳代	中央
感染拡大を抑えるには必要であったと思う。最近の状態については、もう少し国が主導して緩和すべきと思う。	男	40歳代	伊敷
感染予防のためには仕方がない。	男	60歳代	中央
慣例のみで惰性で行っているものが整理されたことには、ある程度意味があると思う。	男	30歳代	中央
交流が途絶えている。	男	50歳代	中央
行事は減ってきているのに会費は変わらない。会員への回避の返却も検討してほしい。	男	60歳代	谷山
高齢者が参加する事が多いので、寂しい人が増えたのでは無いかと気になりました。	女	50歳代	中央
今ぐらいの活動量がちょうど良いと思う。	女	30歳代	中央
今は仕方ないと思う。	女	60歳代	中央
今までがイベントがありすぎぐらいに感じていたので、中止になると逆に助かると思った。	女	30歳代	中央
残念だけどお年寄りの多いところなので仕方ないと思った。	女	30歳代	中央
残念だと思う。	男	50歳代	谷山
残念な時もあれば無くなって嬉しいものもあった。	女	29歳以下	伊敷
仕方がない	女	60歳代	中央
仕方がないことだと思った。	女	50歳代	中央
仕方がないと思いました。	女	40歳代	中央
仕方がないと思う。	女	30歳代	谷山
仕方がないと思う。	男	60歳代	谷山
仕方がないと思った。イベントが中止になったことによる余剰金の返金などもあり、ありがたかった。	女	40歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
仕方がないことだと思います。	男	50歳代	谷山
仕方が無いと思います。無理に開催しても、年配の方が多いい町内会で感染が広がることの方が怖いと思います。	女	50歳代	中央
仕方ない。	男	60歳代	中央
仕方ない。	男	40歳代	吉田
仕方ない。	男	60歳代	中央
仕方ない。	女	50歳代	中央
仕方ないかなと思う。これから少しずつでも良い風に変わればと思います。	女	30歳代	谷山
仕方ないことだと思います。集まってる活動が難しい分、回覧板や広報紙等での地域情報の提供を増やしたらいいと思います。	男	60歳代	谷山
仕方ないと思う	女	30歳代	中央
仕方ないと思う	女	50歳代	吉野
仕方ないと思った。	女	50歳代	中央
仕方ないと思った。	女	40歳代	中央
仕方のないことだと思います。	女	60歳代	中央
仕方のない事です。	男	60歳代	中央
仕方のなかったことだと思います	女	30歳代	中央
子育てをする上で非常に悲しい部分がある。	女	30歳代	伊敷
子どもの行事が中止になり子どもたちがかわいそうだった。	男	50歳代	谷山
自分が子どもの頃は町内会の行事に参加させられてた。今はイベント中止になっても全く何とも思わない。子どもが学生ならイベントも必要だろうけど。	女	50歳代	吉野
鹿児島市に転入して3年程なので、会合以外の町内会の行事には参加したことはありませんが、今まで恒例だった行事が本当に必要なのか、見直すきっかけにもなったのでは？と思います。	女	60歳代	中央
小学生は思い出が減って可哀想だと思う。	女	29歳以下	中央
小中学生にとっては楽しみが減ったのではないかと感じていました。	女	50歳代	中央
世の中が自粛、不要不急の外出禁止、といった風潮の中では各種活動の中止は妥当な判断だったと思います。	女	50歳代	吉田
妥当。	女	29歳以下	伊敷
対策を万全にすれば良いが、周知徹底できる可能性がないため、多くの行事を中止にしたが、地域のつながりが希薄になったように感じた。	男	50歳代	中央
地域の繋がる機会が減ってしまっていると感じます。	男	29歳以下	谷山
地域の方と顔を合わせる機会が減った。行事の開催がコロナ禍以前に戻れば、出来る限りのお手伝いをしたいと思う。	男	40歳代	郡山
中央地区の六月灯は中止になりました。近くの町内はありました。規模の問題なのでしょうか？楽しみにしてたので残念でした。開催と中止の基準は何だろ？と思った次第でした。	女	50歳代	中央
中止にして正解だと思った。	女	40歳代	谷山
中止になって初めて、このようなイベントを行っていたんだなと感じた。	男	60歳代	伊敷
中止は仕方ないけど、高齢者や妊婦、乳幼児がいる家庭には班毎に声掛けなど繋がるイベントがあるといいと思った。	女	40歳代	中央
町内会に加入したのが最近なので、活動内容がわからない。	女	40歳代	中央
町内会は高齢者も多く、コロナ禍の活動は難しいと思います。また、コロナのことがよくわからないうちは、回覧板を回すことも気になっていました。	女	50歳代	中央
密になると感染しやすいから中止になり良かったと思いました。でも子どもたちの夏祭りの中止は、可哀想でした。	女	50歳代	中央
役員になったのがコロナ禍と重なったため、イベント等が中止となって残念だったり、楽になったと思ったりしました。	女	50歳代	郡山

回答内容	性別	年代	地域
役員会を開き、ぎりぎりまで開催できないかを考えたが、仕方ないことだと思った。	女	70歳以上	郡山
楽でした。このままで良いと思っています。	女	30歳代	谷山
私の町内会では、もともと何の活動もしていないので、中止になったものもありません。	男	60歳代	吉野
私の町内会は高齢者が多く色々な行事も中止になりました。広げないためにも妥当な判断だと思います。	女	50歳代	伊敷
特にないです。	女	29歳以下	伊敷
特になし。	男	40歳代	中央

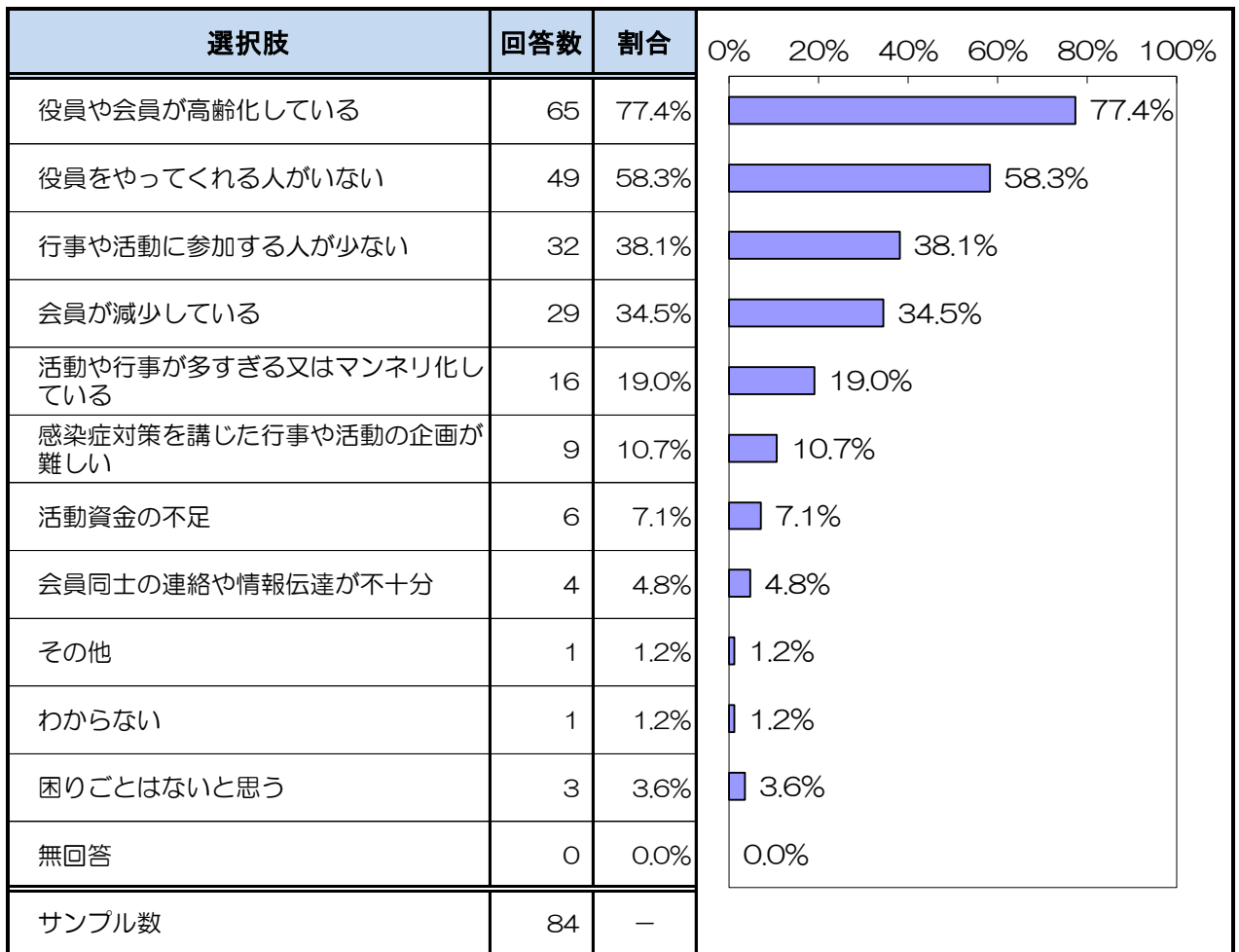
問 32 あなたは今まで（現在在任中も含めて）町内会の役員を経験したことがありますか。（ひとつだけ）

「ある」「ない」がともに50.0%となっています。



問 33 問32で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。役員をした経験から、あなたが加入している町内会の困りごとは何だと思えますか。  
(3つまで)

「役員や会員が高齢化している」が 77.4%と最も高く、次いで、「役員をやってくれる人がいない」の 58.3%、「行事や活動に参加する人が少ない」の 38.1%の順となっています。

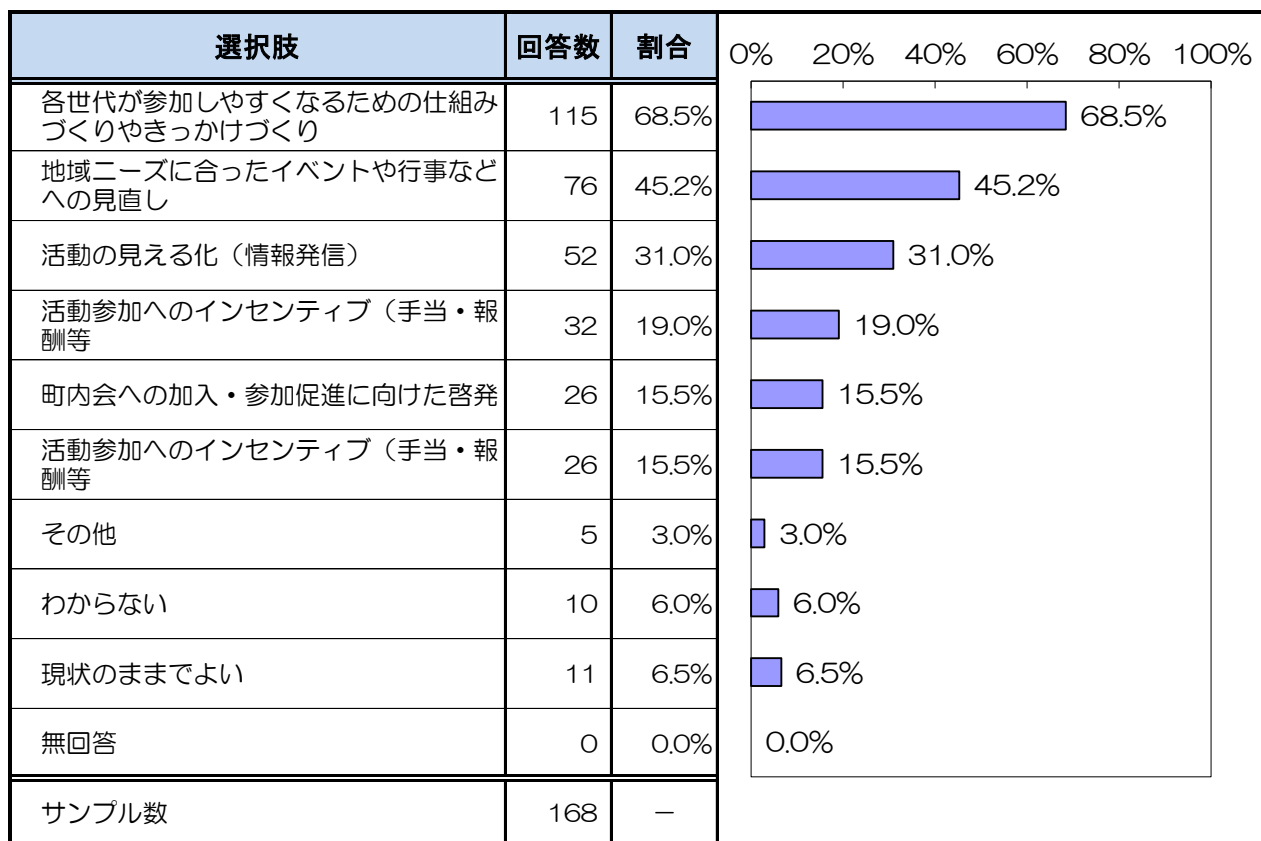


◆その他の回答（原文まま）

- ・繋がりなど、大切な部分があるのは承知している。町内会役員の方が、昔からこうだ！と柔軟性がなく、何十年も前からの行事を頑なに継続しようとしている。共働き世帯も増え、家族形態も変化した中で。適度に活動も変化していかなければ、苦痛でしかない。

問 34 問28で「1. 加入している」とお答えした方にお伺いします。今後、町内会活動を継続していくために、必要なことは何だと思いませんか。（3つまで）

「各世代が参加しやすくなるための仕組みづくりやきっかけづくり」が 68.5%と最も高く、次いで、「地域ニーズに合ったイベントや行事などへの見直し」の 45.2%、「活動の見える化（情報発信）」の 31.0%の順となっています。



◆その他の回答（原文まま）

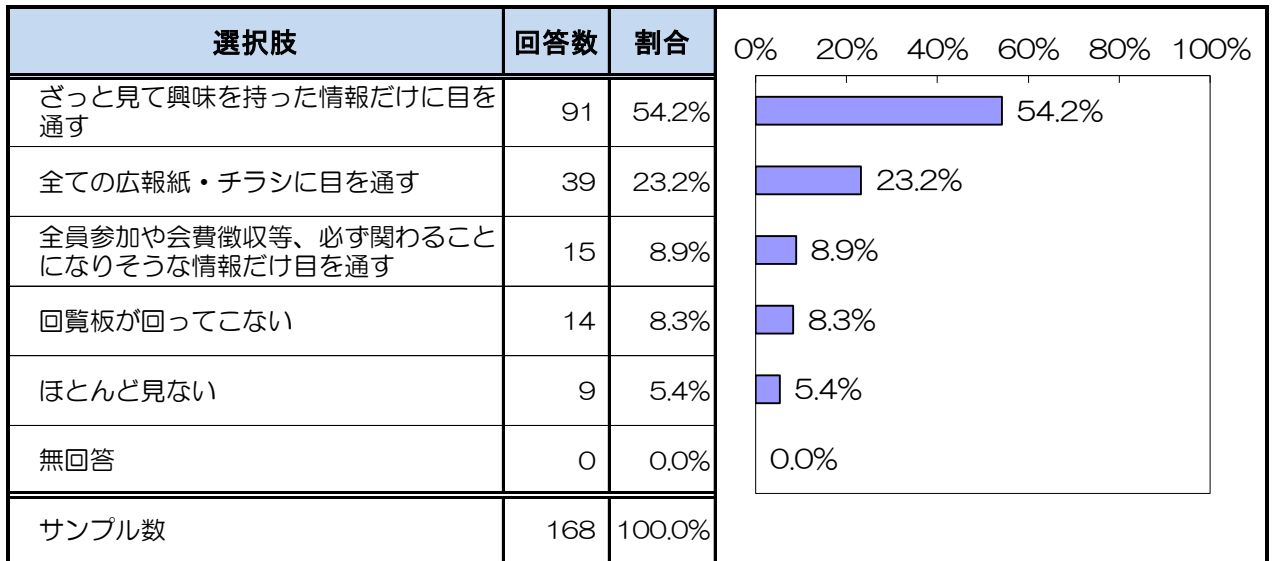
- ・ どれも、共働きの多くなり忙しくて町内活動は控えたい。
- ・ 町内会は必要なのか？
- ・ 町内会の必要性、活動の目的の明確化。
- ・ 町内会役員の威圧的な態度をとる人への研修。
- ・ 私が住んでるマンションは築 15 年！入居するときに町内会には加入となり、毎月管理費から引かれています。小学生がいた時は、何かしら行事に親子参加で大変でした。昔から住んでいらっしゃる方は町内会費で、レクレーションしたり『町内の親睦会』、研修旅行（一部本人負担）参加者はいつも決まったメンバーです。こういう行事に町内会費から支出するのだと不思議に思います。



問 35 問28で「1. 加入している」とお答えした方にお伺いします。回覧板が回ってきたとき、広報紙やチラシをどの程度見ますか。

(ひとつだけ)

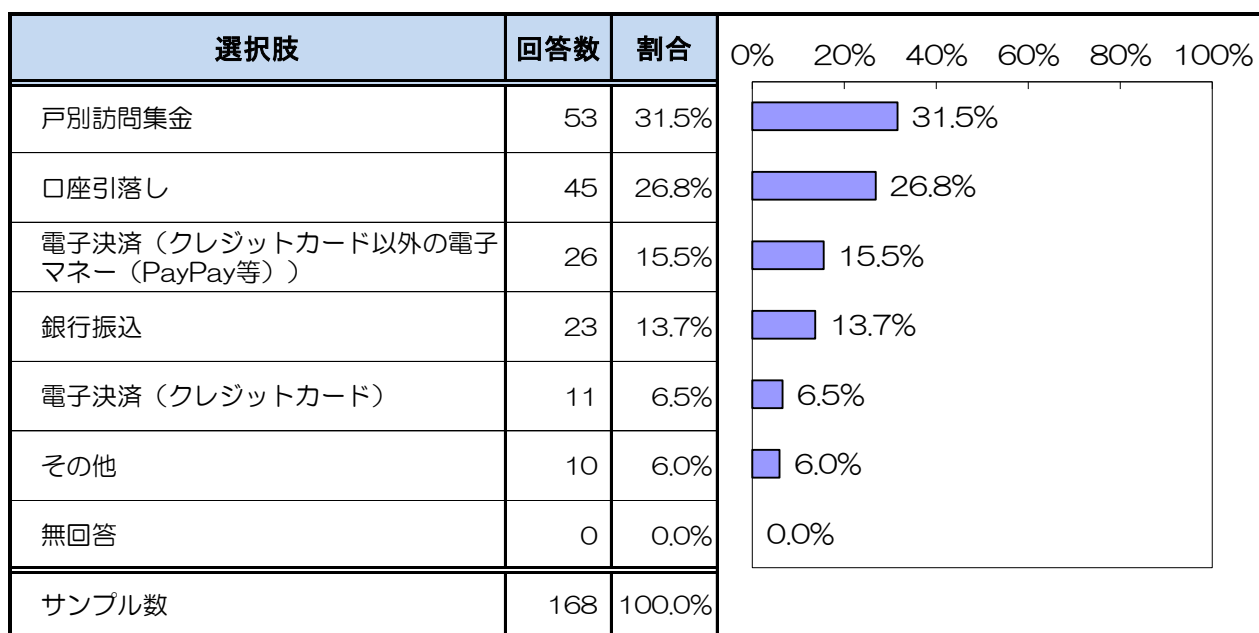
「ざっと見て興味を持った情報だけに目を通す」が 54.2%と最も高く、次いで、「全ての広報紙・チラシに目を通す」の 23.2%、「全員参加や会費徴収等、必ず関わることになりそうな情報だけ目を通す」の 8.9%の順となっています。



問 36 問28で「1. 加入している」とお答えした方にお伺いします。今後、町内会費の徴収方法として最も理想だと思える方法を教えてください。

(単数回答)

「戸別訪問集金」が 31.5%と最も高く、次いで、「口座引落とし」の 26.8%、「電子決済（クレジットカード以外の電子マネー（PayPay等））」の 15.5%の順となっています。



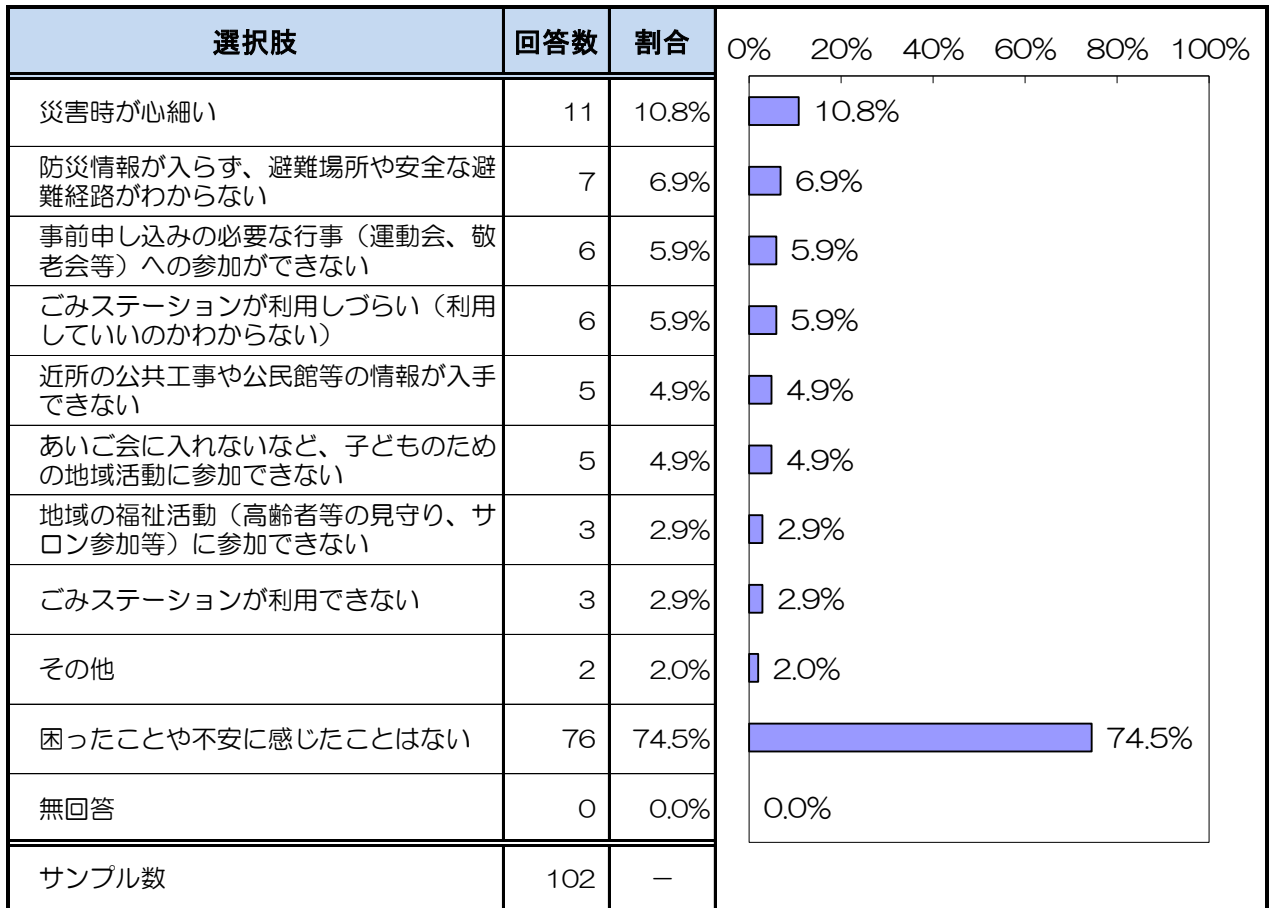
#### ◆その他の回答（原文まま）

- ・ マンションの共益費から支払われていると思ってる。
- ・ 各家庭それぞれにあった方法。選択制。
- ・ 払う人の都合に合わせて
- ・ 支払い方の選択肢を複数にする。1. 日時を決めて、公民館で支払う 2. 戸別集金 3. 振込 など。
- ・ 高齢者と若い人では、意見が分かれると思うので。集金と、口座引き落とし、電子決済など選択できたらより良い。
- ・ 集金
- ・ 引っ越しきて班長になり戸別訪問で近所の方を知ることができたので良かったと思います。ただ何度も訪問しても留守の一人暮らしの若い男性の方の集金は大変でした。
- ・ 給付金等からの差引
- ・ 戸別訪問集金も留守がちな家が多くて大変、銀行振込も口座引き落としもなかなか難しいと思う。電子決済は利用していない人もいるので、難しいのではないかなと思う。
- ・ 町内会にもよると思いますが、私の町内は区の班長さんが個別訪問し徴収して、その一割を頂くみたいです。管理費から引き落としの私達は、管理会社が町内に振り込みします。訪問者の労力があるから一割頂けるとの話でした。おかしい話です。



問 37 問28で「2. 加入していない」とお答えした方にお伺いします。あなたは町内会に加入していないことで困ったこと・不安に感じたことがありますか。(3つまで)

「困ったことや不安に感じたことはない」が74.5%と最も高く、次いで、「災害時が心細い」の10.8%、「防災情報が入らず、避難場所や安全な避難経路がわからない」の6.9%の順となっています。



◆その他の回答（原文まま）

- ・ どうしたらいいのかわからない。
- ・ 町内会に加入するという制度にあったことがないのでわからない。

問 38 地域とのつながりや町内会の活動について思うことなど、ご意見等ございましたら、自由にご記入ください。

◆回答一覧（原文まま、一部重複有）

・町内会活動への参加や町内会への加入に関することについて

回答内容	性別	年代	地域
アパートやマンションに住んでいる人が町内会に入っていないのは、不平等だと思います。私達も夫婦2人だけど持家だから仕方なく町内会に入っている状況です。	女	50 歳代	中央
現在、うちの町内会でも住んでいる住人の人達が、別な町から移り住んだり、引越しをして、人の入れ替わりがあつたりして、町内会に入らない人が多くなってきていて、町内会の活動に関心のない人が多くなってきています。少しでも町内の人たちがお互いを知り合つて、少しでも町内会の活動に関心をもって、色々な活動やイベントが出来れば幸いです。	男	60 歳代	中央
これまで町内会に加入していても、つながりを感じてきませんでした。コミュニティは自分で作っていかなければならないものなのかなと思っています。	女	40 歳代	吉田
私が居住している所は、一軒家だった所の代が変わると、マンションが建つということが増え、町内会に参加できる方がどんどん減っています。マンションから町内会費はもらえますが、人はなかなか増えません。	女	60 歳代	中央
加入しなくていいなら、やめたいと思うこともある。	女	60 歳代	桜島
会費だけ出してほとんど参加していません。もっと交流したい気持ちもありますが、昼は仕事でほとんどおらず、子どもも小さいためなかなか機会がありません。	女	40 歳代	谷山
共働き世帯が多く、高齢者の介護や子どもを育てることに精一杯でそんな余裕は生まれないかもです。以前はご近所さんは小さい頃からの知り合いで構成されていましてから、成り立ったと思います。私はよその県から北薩への移住（30年前）をしましたが、よそ者扱いでしたよ。	男	50 歳代	吉野
行政の人にも年1回くらい参加して欲しい	男	50 歳代	松元
災害発生時の公助や自助機能向上のために地域のつながりや町内会の活動は大事だと思う。だが、遠方に実家がある大学生の1人暮らしなど、どうやったら加入できるかすらも分からない。	男	29 歳以下	中央
子どもが小さい時は役員をやりながら行事に参加させて頂いた。これからは機会があれば参加していきたいと思っている。	女	60 歳代	中央
子どもたちや年配、一人暮らしの方等地域の人達が声掛けし安否確認のためにも必要かと。みんなのゴミステーション、街灯等。そのためにも町内会に加入を。	女	50 歳代	吉田
市役所職員の方や教員の方など、公務員の方で未加入の方が目立ちます。	男	60 歳代	伊敷
私が住んでいるマンションは町内会加入率が大変低く、総会の際に加入に向けての説明もありましたが、メリットがないと加入する気持ちにはならないのかと少々残念に思っています。防災組織を作るためにも、町内会に加入してもらえたらと思っています。	女	60 歳代	中央
赤い羽根募金の強要（他の自治会と比較したり）、会長交代できない問題を回覧板にありありと掲載されていたので関わりたくない印象だった。	女	30 歳代	中央
町内会は大切だと思いますが、日曜日の清掃作業などに仕事で参加できないので、町内会には入っていない。	女	40 歳代	吉田

回答内容	性別	年代	地域
町内会への加入促進を昨年から行っている。昨年は 25 人が加入。補助金でタオルを作成。加入したくない理由を聞き、班長はしない。回覧板は回さないなど了承。地域の不動産屋さんが回覧出来る場所を提供。回覧板を回さなくて良い班もあります。今年も頑張ろうと思います。	女	70 歳以上	松元
町内会への入り方が分かりにくい。今の住居に引っ越してきて 1 年以上経つが、町内会への加入お知らせも無く、町内会のイベントなどの案内も無い。どのような活動をしているのかすら知る機会がない。	男	30 歳代	吉田
町内会への入会方法がわからなかった。	女	30 歳代	郡山
町内会活動は、その地域を知ることのできる良い機会だと思います。ただ、人の話だけが長かったりする会は参加したくありません。	女	50 歳代	中央
町内会長が誰なのか知らないし、仕事も不規則なため、町内会の行事の準備や、参加するのが普通と思われても困る。町内会に入っていないならゴミは捨てるなどと言われるが、それは正当なんですか？	女	30 歳代	谷山
二年ほど前に町内会を退会しました。高齢者が増え退会する方が多く役員が終わったと思ってもすぐに回ってきます。あまり頻繁に回ってくるので退会しました。が、現在何の支障もなく過ごせています。町内会に入っているメリットを感じませんでした。ちなみにゴミステーションの掃除は退会した人も交代でしています。	女	50 歳代	中央
民生委員さんが誰か分からないし町内会があるのかも分からない。長年賃貸マンションに住んでいるからか 20 年近く経ても分からない。もっと周知をするべきだと思います。	女	40 歳代	中央
役員として、町内会に入らない人ほど、ゴミ出しルールを守らなかったり、夏の一斉掃除もしなかったり、町内会は一生懸命企画しているので、どうしたら入って貰えるのかが。悩み。会費が年 9600 円と高いからかも知れない。	女	70 歳以上	郡山

## ・町内会の運営について

回答内容	性別	年代	地域
コロナ禍の中、人との交流もさらに疎遠になっています。町内会の有無や在り方も考える時期にきていると思います。	女	60 歳代	谷山
町内会活動は、地域の特性を生かしたものが大事と思う。また、会員が意見を自由に語る体制が町内会の活性化につながると思う。	男	70 歳以上	伊敷
意見交換会のような意見を発信する機会があったら良いと思います。	男	70 歳以上	中央
行ける方は大体、決まってしまう。やはり、出来る限りは参加者が多くなるような方法を、前向きに実現出来たら良いなと思います。誰もが気楽に行ける工夫が必要かなと思います。	女	70 歳以上	中央
高齢化しすぎて、役員になる人がいなく、何年も同じ人がしている。仕事量も大変。仕事量も減らして、もっと簡素化すると良いと思うけど。ゴミも町内会に入っていない人も使う、矛盾している。	女	50 歳代	吉野
高齢者が多いため役員も高齢者になり若い方々は仕事があり中々引き受けてもらえません。市の方が町内会を管理する事は可能ではないかと思えます。	女	50 歳代	伊敷
若い世代による新しい町内会。予算、お金の確保。	男	50 歳代	中央
世代ギャブがあり、考え方の摺合せが大変！	男	40 歳代	中央
大切なことだとは思いますが、コロナ禍では考え方、家族構成などそれぞれなので、負担のないように継続できるといいと思います。	女	40 歳代	中央
地域で支え合う町内会であってほしい。	女	50 歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
地域とのつながりや町内会の活動は居住地域の美化や治安の維持に必要なと思いますが、若い世代が参加しにくい時間帯の活動などが多いと思います。時間を分けたり日にちを分けたりの工夫が必要なのではないかと思います。	女	40 歳代	谷山
地域のつながりは大切だが、役員の負担や行事のあり方など、現在のライフスタイルに合わせて検討すべきだと思う。	女	30 歳代	中央
地区によるでしょうが参加意識が希薄になってきている。	男	70 歳以上	中央
町内会は必要だと思いますが、行事や役割が多いので、役員になると大変さを感じます。役員も一年毎の交代制にしたら、色々な意見や負担も理解しあえていいと思います。	女	50 歳代	中央
町内会も高齢化が進み、これから先も今までと同じように活動するのは厳しいと思います。数年ごとに役員が回ってきますが、もっと仕事を簡素化させて、小さな『係』のような役割を数人で共有すると負担が減り、誰でも受け入れやすくなりそうな気がします。	女	50 歳代	中央
普段は仕事をしており、地域のつながりを感じる機会がない。ご近所さんと特段の交流はないが、現在の家に引っ越した早々に町内会に入るよう促され、翌年に班長、その翌年に役員をすることになった。役員のなり手がいないというのが理由だったが、役員の仕事は多く、仕事と子育てをしながら町内会活動は大変だった。時代は変わっているのだから、町内会も変わる必要があるのではないか。旧態依然の体制では成り立たないように思う。	女	30 歳代	谷山
防災のことなど地域のつながりが必要かと思いましたが入っても運営されている方の裁量で加入されている人への情報提供は限られてメリットも少ない。活動も個人の主張の強さで流されたりと公平さがかかるように感じます。	女	40 歳代	谷山
本年初めて役員をしましたが、イベント等が昔から同じことの繰り返しで、時代は変化しているのに、それに対応できていないと感じました。昔とは生活スタイルも変わってきていて共働きが基本になってきているし、時代にあった内容に変更していくべきだと思います。しかし、そのことを提案しても昔から役員をしている方々は断固として変更しようとならないので、若い世代の人達は尚更役員をしたがらないと思います。	女	30 歳代	中央
役員さんだけが、いろんな事に参加しているのもっともっと地域全体で取り組む事が大切。	女	50 歳代	喜入
率先して役を引き受けてくださる方々をもっと紹介しても良いのではないのでしょうか。ホームページなどで。	女	50 歳代	中央

## ・町内会の必要性について

回答内容	性別	年代	地域
以前は、町内会に加入していました。しかし、頼みやすいのか同じ地域には子どものいる世帯は何家族もあるのに毎年役員をお願いされたり、夜遅い時間に集金をしなくてはならなかったりして、負担でしかありませんでしたので、脱会しました。町内会のイベントは子どもが小さい時は有難い事も多いですが、大きくなるにつれ必要性を感じなくなりました。	女	40 歳代	伊敷
回覧板も回さないでくれという人が多い。会費を払っているだけ。町内会の意味があるのか？	女	40 歳代	谷山
強制感があるので不快に感じる。引っ越して間もないが、すぐに町内会に入ってほしいという案内が来て不快に感じた。仕事があり暇ではないので、町内会に参加したくない。	女	30 歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
今の世の中、近所付き合いをやらなくなってるので町内会はなくてもいいと思ってる。しかし、ゴミステーションの掃除やら道路の所の草払いなどはしてほしい。	女	50 歳代	吉野
子どものいない家庭からすると学校行事が多い町内会の行事は、参加しなくてもいいかなと思う。	男	50 歳代	中央
子育て世帯になってその重要性がわかってきた。単身世帯であればあまり必要性を見いだせない。	女	40 歳代	伊敷
世代ギャップが有りそうなのと、今のところ町内会に入ってなくても困らない。	男	40 歳代	中央
正直面倒です。無ければいいのに。	女	50 歳代	伊敷
町内会には入ったが賃貸は孤立化しやすく無意味な気もします。	女	40 歳代	中央
町内会の必要性がよく分からない。	女	30 歳代	谷山

### ・町内会費について

回答内容	性別	年代	地域
LGBT と真逆の問題だと感じます。公費も平等に分配されているでしょうか？差別に繋がる側面もありませんか？	男	40 歳代	桜島
アパート、マンションなどは管理者が町内会費への理解を求めた上で管理費等の中に含ませる。	女	60 歳代	中央
会費の予算について無駄を省き、会費を減額するなどの検討が必要である。	男	60 歳代	谷山
町内会の予算を見直し、会費を少なくする努力をしてほしい。	男	60 歳代	谷山
町内会費を集めるのが困難。不在宅も多い。	男	40 歳代	伊敷
役員として、町内会に入らない人ほど、ゴミ出しルールを守らなかったり、夏の一斉掃除もしなかったり、町内会は一生懸命企画しているので、どうしたら入って貰えるのかが。悩み。会費が年 9600 円と高いからかも知れない。	女	70 歳以上	郡山
予算、お金の確保	男	50 歳代	中央

### ・町内会活動にかかる負担について

回答内容	性別	年代	地域
あまり活動が活発になって敬老会で婦人会の人が仕事を休んでまで接待をしないといけないと言われると出来ない。	女	50 歳代	中央
設問 43 の選択が 3 個までなのは少なすぎる。高齢化が進んで来ているので、数年で変わる役員の素人集団の会合では予算消化のイベントしか頭が回らないです。円滑な会合になるように、サポートして頂ける市職員等にきてほしいと思います。	女	50 歳代	郡山
県外からの転入ですが、鹿児島市の自治会の活発さに驚きました。ただ活発がゆえに、共働きの子育て世代から敬遠されていると思います。町内会に加入はいいですが、地域によっては強制的に加入させられたりしています。毎月負担になる活動もあり、ボランティアでは済まないような事もあります。高齢者の役員しかおらず、若い世帯の提案も聞き入れてくれない事もあり、ますます負担になります。	女	30 歳代	喜入



回答内容	性別	年代	地域
町内会活動は強要ではなく、「任意」と役員が理解してほしい。高齢者への見守り、子どもへの見守り。色々と大切な事があるのは理解できる。しかし、参加しない事に文句を言われたり。昔からの伝統！の一言で、変更や簡略化の提案も却下され。そこまでして、自分や家族の時間を潰さないといけない理由が分からない。今の生活スタイルに合わせた、活動が出来たら。積極的に参加できると思う。感染症も何も考えない役員をどうにかしてほしい。	女	40歳代	伊敷

## ・町内会におけるゴミステーションについて

回答内容	性別	年代	地域
ゴミステーションに感しては住民税やら納めているのになぜ町内会のルールがあるのか疑問。甚だ不快なルールだ。町内会なんてなくなってしまえばいいと思う。	女	30歳代	中央
会費だけ出していてほとんど参加していませんが、ゴミステーションの清掃等感謝しております。	女	40歳代	谷山
今の世の中、近所付き合いをやらなくなっているので町内会はなくてもいいと思ってる。しかし、ゴミステーションの掃除やら道路の所の草払いなどはしてほしい。	女	50歳代	吉野
二年ほど前に町内会を退会しましたが、ゴミステーションの掃除は退会した人も交代でしています。	女	50歳代	中央

## ・地域とのつながりについて

回答内容	性別	年代	地域
これから地域活動していきたいです。	男	40歳代	中央
コロナで益々繋がりが薄くなり、孤立している人が増えている。民生委員の様な活動をもっと広げていっても良いのかも。	女	50歳代	中央
コロナ禍で難しいとは思いますが、スポーツイベントがあると交流しやすいと思います。	男	29歳以下	谷山
そういったコミュニティがない地域	男	30歳代	中央
つねづね、あいさつには、心がけています。おはよう！小学生、中学生、高校生、声かけて過ごしています。勿論、おばあちゃん、おじいちゃんにも。	女	60歳代	谷山
近所の方を知りあいさつ交わすだけでも気持ちの良いものです。お祭りや準備など大変な事もありますが地域のつながりはもっとあって良いと思います。	女	60歳代	中央
高齢化に伴う組織内容の検討が必要と思います。	男	60歳代	中央
高齢化率が高い日本の中でも鹿児島県は特に一人暮らしの高齢者が顕著である。地域とのつながりが、あるのか無いのかが生命を左右するくらいに深刻である。特に後期高齢の方は、耳や目が不自由になると情報も入りにくくなる、「お節介」と思われるくらいの声かけやわかりやすい広報が時として心強くもある。字の大きさや色そして、「お声かけ」を繰り返して維持してほしいと思う。	女	60歳代	伊敷
今までは積極的に参加していなかったが、定年を迎えるにあたってつながりのある活動が少なくなるので地域の活動に参加しようと思う。	男	60歳代	伊敷
昨今ストーカーや不法侵入、車の窃盗などもあるので繋がりは大事だと思うが、深く入り込まない顔見知り程度でいいと思う。	女	29歳以下	伊敷
仕事で地方に行けば行くほど地域間の結び付きは強いと感じるが、現在住んでいる地域ではあまり感じない。	男	29歳以下	中央
実家が部落外でそちらに所属した結果、ごみは捨てにくく回覧板も来ない。	女	50歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
地域との繋がりはとても大切だと思うが、掃除や集まりなど強制的では良くないと思います。私の場合、マンションの両隣とは顔見知りで、一人は高齢者なので困った時は連絡してもらってます。時代は変わっても助け合いの輪は広がるといいなと思います。	女	30 歳代	中央
地域と深くつながる事へのメリットとデメリットがあり、特に今の時代は個人情報やプライバシーの保護、仕事・学校とプライベートの差別化などが進んでいて尚の事デメリットの方を大きく感じやすい気がする。地域というよりは年代や世代別での繋がりを強化した方が良いような気がする。ネット環境を利用しての。ただ地域ごとに抱える問題が違うので、その地域ごとに合った対策を講じる事が大切だと思う。ただ、それが難しい…。	男	40 歳代	谷山
地域の繋がり必要性を感じるが、日々忙しくなかなか参加できないのが実情	女	50 歳代	中央
地域や町内会のつながりがないのでよくわかりません。つながりや活動があったら一緒に遊んだら相談が気軽にできるのかなと思います。	女	30 歳代	谷山
これから地域活動していきたいです。	男	40 歳代	中央

## ・その他

回答内容	性別	年代	地域
コロナでさみしい思いをしてる人もいます。早く終息してほしいものです。	女	50 歳代	伊敷
なし	女	50 歳代	中央
特にないです。	女	29 歳以下	伊敷
特にないです。	女	29 歳以下	伊敷
特になし	男	70 歳以上	吉野